

「済生会交差点」
救急認定薬剤師の
しごと

済生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1126



4

April 2023

社会福祉法人

恩賜
財団

済生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

濟生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sumitani

少子化は止められるだろうか

私は、5人兄弟である。私の世代では多人数の兄弟は、珍しいが、今では少数派に属する。

私が生まれたのは終戦直後で出生数は落ち込み、小学生の時は1学年4学級だった。1学級45人程度だったが、貧困な家庭、在日コリアンの家庭、病弱の子、障害を有する子など様々な事情

のある子どもたちがいた。子どもたちは、日々の生活の中で「社会には多様な人がいるのだ」と学んでいった。

翌年度から第一次ベビーブームが始まった。学級数は2倍以上になった。応急的に校舎が増築された。私の学年の児童は、のんびりとした性格だったが、次の学年は、競争心が強く元氣



なせだろうか。理由は、明らかだ。背景にある経済・社会構造の変化に対する対策が欠如していたからである。経済学者の中には、この変化を肯定的にとらえる人もいるのだから、少子化の進行は止まる訳がない。

経済・社会構造の歴史的变化は、多岐にわたる。一番大きなことは、グローバル化の進展によって市場競争が激化したこと

であった。どの学年かは、行動を見れば見当がついた。やはり人が多いことは、社会が元気になる基礎条件である。

さらに住居の問題もある。住宅購入費の高騰や重くなる家賃負担で、家庭を構え、子どもを持つことを妨げる。

前年の合計特殊出生率が過去最低だった1990年に「1・57ショック」が起きた。国は、1994年の「エンゼルプラン」を皮切りに少子化対策基本法制定、児童手当法改正など対策を練り出したが、ことごとく効果がなかった。

3月初め横浜寿町を訪れた。三大寄せ場の一つであるが、男性がほとんどを占める山谷や釜ヶ崎と異なり、子どもも住むという寄せ場だった。寿町の簡易宿所(いわゆる「ドヤ」)は、家族が住める構造であったので、他地域から家族連れが流入した。しかし、今では子どもは少なくなり、単身高齢者の町になった。

で、非正規雇用者が雇用者の4割を占めるようになったことだ。将来の生活設計を描けなくては、結婚できない人が増えるのは当然だ。

☆ ☆



熊本、松山から「愛」をお届けします!



熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」
熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428

松山ワークステーション「なでしこ」
愛媛県松山市東山町143番地 Tel: 089-916-6959



焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが店舗し、済生会のホームページ上で営業中です。商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマープル、ゴマ、プレーン、クルミ)



♥ギフトボックス (クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ)



♣くまドレーズ (くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレーズ)



♠元祖クッキー (片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!!
<https://www.saiseikai.or.jp>



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。



不易流行 (ふえきりゅうこう): 不易は永遠性、流行はその時々の新風をいい、芭蕉が俳諧思想を表現するときに用いた。済生会は長い歴史で醸成された価値を大切に、時代の変化に適応していかなければならない。



4月のたよりが聞こえる 返ってきた花見

新型コロナウイルス感染症で中止されていた花見が4年ぶりに各地に返ってきた。戻ったのはもちろん、銘々が静かに花を愛でるのではなく、ドンチャン騒ぎのほう。花見の起源は諸説ある中、一般的には平安初期、平安京を開いた桓武天皇の子である嵯峨天皇が京都・神泉苑で開いた「花宴の節」といわれる。奈良時代まで花見と言えは中国渡来のウメだった。それがサクラに変わったのは、嵯峨天皇が好きだったから。都を奈良・

平城京に戻そうとする謀反を、初代征夷大将軍・坂上田村麻呂の力を借りて乗り切り、田村麻呂ゆかりの地主神社の桜に祈りをささげ、その後千年続く平安の都の礎を築いたという。清水寺の舞台のすぐ近くにある地主神社にそう伝わっている。

世の中にたえて桜のなかりせば
春の心はのどけからまし

その時代の歌人・在原業平の有名な和歌。確かに「いつ咲く?」「いつ散る?」と今もって気にかかるのは、その頃から続く日本人の心性か。

敷島の和心を人問わば
朝日に匂ふ山桜花

時代は下って、江戸時代の国学者・本居宣長の和歌。日本人の精神とは何でしょうか。朝日に照り輝くヤマザクラの美しさに感動する心でしょう。

農村では桜には田の神が宿るとして豊作祈願の対象とされていたが、物見遊山としての花見は貴族から武家に伝わり、江戸時代には町民に広がった。品種改良がどんどん行なわれ、江戸末期、ついにソメイヨシノが登場する。エドヒガンとオオシマザクラの交雑種。今の東京都北区駒込あたり、染井村の植木職人などが山桜で有名な奈良・吉野を冠して「吉野桜」として売っていたらしい。

葉が出る前に花が、一気に開き、激しく散るのがうけて、大人気。ただ、ほとんど結実しないか、しても発根性に問題があるため、接ぎ木か挿し木で増やしている。つまり、クローン。世界中にあるあの散り際に、ソメイヨシノは一つの木。それはそれで潔いか。

表紙のことば

桜が思い出を引き出してくれる

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

4月、今年はもう新しい出会いがいくつかあったでしょうか。大きな変わり目をほんの束の間、淡いピンクで彩り包んでしまう桜の花はいろいろな感情や思い出と結びついている気がします。この

季節に旅行に出ると、旅先の土地の桜との出会いもあります。「今年もあの桜はきれいに咲いたかな」「出会ったあの人はお元気かな」と桜前線と一緒に私の記憶も北上していきます。

濟生

SAISEI

APRIL, 2023

C O N T E N T S

NEWSな濟生人

伊藤裕介さん

病院前救急診療の腕を競う「メディカルラリー」をけん引
〈大阪〉千里病院 千里救命救急センター副部長

06

濟生会交差点

〈救急認定薬剤師のしごと〉薬の専門性を救急現場で発揮! 患者の命を守る薬剤師 / 〈小児プライマリケア認定看護師〉子どもの健康を支えるスペシャリスト。医療的ケア児の“当たり前の生活”を目指す / 〈新人介護職員の成長記〉何もかも新鮮

10

で驚き、毎日学び成長できた1年 / 〈地域に根差し障害者を支える〉20年来、地域の期待に応え続ける。よりよい意思決定支援を追

巻頭コラム 濟生会の不易流行論

少子化は止められるだろうか 理事長 炭谷 茂 03

4月のたよりが聞こえる——返ってきた花見
表紙のことば 久保田真由美 05

濟生会フェア 京都濟生会病院 18

ソーシャルインクルージョン 20

この人 山口もえ 24

口福にっぽん 吉井省一 26

だれでもかんたん てづくりおもちゃ
いまいみさ 28

TOPICS 30

大雑報 67

題字協力：石飛博光

アートディレクション：OVO INTERNATIONAL





4月のたよりが聞こえる 返ってきた花見

新型コロナウイルス感染症で中止されていた花見が4年ぶりに各地に返ってきた。戻ったのはもちろん、銘々が静かに花を愛でるのではなく、ドンチャン騒ぎのほう。花見の起源は諸説ある中、一般的には平安初期、平安京を開いた桓武天皇の子である嵯峨天皇が京都・神泉苑で開いた「花宴の節」といわれる。奈良時代まで花見と言えは中国渡来のウメだった。それがサクラに変わったのは、嵯峨天皇が好きだったから。都を奈良・

平城京に戻そうとする謀反を、初代征夷大将軍・坂上田村麻呂の力を借りて乗り切り、田村麻呂ゆかりの地主神社の桜に祈りをささげ、その後千年続く平安の都の礎を築いたという。清水寺の舞台のすぐ近くにある地主神社にそう伝わっている。

世の中にたえて桜のなかりせば
春の心はのどけからまし

その時代の歌人・在原業平の有名な和歌。確かに「いつ咲く?」「いつ散る?」と今もって気にかかるのは、その頃から続く日本人の心性か。

敷島の和心を人間わば
朝日に匂ふ山桜花

時代は下って、江戸時代の国学者・本居宣長の和歌。日本人の精神とは何でしょうか。朝日に照り輝くヤマザクラの美しさに感動する心でしょう。

農村では桜には田の神が宿るとして豊作祈願の対象とされていたが、物見遊山としての花見は貴族から武家に伝わり、江戸時代には町民に広がった。品種改良がどんどん行なわれ、江戸末期、ついにソメイヨシノが登場する。エドヒガンとオオシマザクラの交雑種。今の東京都北区駒込あたり、染井村の植木職人などが山桜で有名な奈良・吉野を冠して「吉野桜」として売っていたらしい。

葉が出る前に花が、一気に開き、激しく散るのがうけて、大人気に。ただ、ほとんど結実しないか、しても発根性に問題があるため、接ぎ木か挿し木で増やしている。つまり、クローン。世界中にあるあの散り際に、ソメイヨシノは一つの木。それはそれで深いか。

表紙のことば 桜が思い出を引き出してくれる

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

4月、今年はまだ新しい出会いがいくつかあったでしょうか。大きな変わり目をほんの束の間、淡いピンクで彩り包んでしまう桜の花はいろいろな感情や思い出と結びついている気がします。この季節に旅行に出ると、旅先の土地の桜との出会いもあります。「今年もあの桜はきれいに咲いたかな」「出会ったあの人はお元気かな」と桜前線と一緒に私の記憶も北上していきます。

濟生

SAISEI

APRIL, 2023

C O N T E N T S

NEWSな濟生人
伊藤裕介さん 病院前救急診療の腕を競う「メディカルラリー」をけん引
〈大阪〉千里病院 千里救命救急センター副部長 06

濟生会交差点 〈救急認定薬剤師のしごと〉薬の専門性を救急現場で発揮! 患者の命を守る薬剤師 / 〈小児プライマリケア認定看護師〉子どもの健康を支えるスペシャリスト。医療的ケア児の“当たり前の生活”を目指す / 〈新人介護職員の成長記〉何もかも新鮮で驚き、毎日学び成長できた1年 / 〈地域に根差し障害者を支える〉20年来、地域の期待に応え続ける。よりよい意思決定支援を追

巻頭コラム 濟生会の不易流行論 03
 少子化は止められるだろうか 理事長 炭谷 茂

4月のたよりが聞こえる — 返ってきた花見表紙のことば 05
 久保田真由美

濟生会フェア 京都濟生会病院 18

ソーシャルインクルージョン 20

この人 山口もえ 24

口福にっぽん 吉井省一 26

だれでもかんたん てづくりおもちゃ 28
 いまいみさ

TOPICS 30

大雑報 67

題字協力: 石飛博光
 アートディレクション: OVO INTERNATIONAL





毎年、千里病院近くの公園などを会場に開催されるメディカルラリーは、救急診療技術向上に確実に寄与している。伊藤さんも加わる同院と兵庫医科大、茨木市消防署の連合チームは2012年6月、チェコで開かれた国際大会で3位入賞を果たしている。この時の国際大会には、日本の4チームも含め世界20カ国から93チームが参加した

病院前救急診療の腕を競う「メディカルラリー」をけん引

〈大阪〉千里病院 千里救命救急センター副部長

伊藤裕介 さん

子どもから大人まで、
蘇生率や救急医療の
知識・技術向上を
目指したい

NEWSな済生人 Interview



救急現場を再現した中で、医師・看護師らのチームで救命活動や治療技術を競う「メディカルラリー」。チェコ発祥の競技で、日本では千里救命救急センターが初めて開催しました。昨年11月、新型コロナの影響で3年ぶりに再開、NHKの番組でも取り上げられました。千里救命救急センター副部長の伊藤裕介さんに、メディカルラリーにかける思いを聞きました。（本部長室）

——メディカルラリーはどんな競技ですか。伊藤 医師・看護師・救命士2人ずつのチームで、救急現場のさまざまな状況を想定した「シナリオステーション」6〜8カ所を次々に回り、病院前救急診療（プレホスピタルケア）の正確さを競う技能コンテストです。病院前救急診療とは傷病者を病院に運び込む前に行なう診療のこと、当院はその質の向上を目指してメディカルラリーを日本で初めて2002年に開催しました。

——NHK「ニッポン知らなかった選手権実況中継」（1月24日放送）でも紹介されていきましたね。まるで実際の救急現場のような迫力で驚きました。

伊藤 19年以来3年ぶりに開催した昨年11月の第19回大会には、全国から21チーム149人が参加し、運営スタッフとボランティアを合わせて総勢617人で実施しました。シナリオは、交通事故・水難事故・感染症・心筋梗塞・脳梗塞・妊婦破水・一心中・集団災害などで実際の救急現場でも

遭遇します。医療チームの緊迫したやりとり、うろたえる傷病者の家族、現場に居合わせた通行人まで、救急現場をリアルに再現しています。もちろん参加者はシナリオを知りません。

——そんなに細かく設定・描写するのですか。伊藤 はい。薬物中毒を想定した特殊災害現場では現場に通報者のほか、自動車内と車外に倒れた状態の人が1人ずつ、傷病者の呼吸・脈拍などの容体を、神の声として伝える「想定付与」というブラカードを首から提げたスタッフがいます。後部座席で倒れていた人は心肺停止状態で、シートには白い粉が付着しています。救急医療チームは制限時間（10分）内にこれらの状況を的確に把握し、必要な処置を行なわなければなりません。

——一刻を争う救急現場の緊迫感が伝わってきます。評価・採点の基準は？伊藤 シナリオステーションには重要な項目がいくつかあります。この薬物中毒のシナリオだと、「薬物発見」「麻薬症状に対して使われる薬剤の投与」「チーム内の情報共有」などを評価、確実に行動・処置しなければ高得点は期待できません。

——採点者は誰が？伊藤 救急に携わっている医療従事者や、救急関連の教育コースのインストラクターなどが担当します。

——傷病者や家族を演じる役者の演技も迫力満点でした。

写真撮影時のみマスクを外しています

2002年、国内初のメディカルラリーを
千里救命救急センターが開催。
子どもや医学生対象のラリーも



1993年から千里救命救急センターが運用しているドクターカー。消防本部の要請により医師や救急救急士等が乗り込んで救急現場へ駆けつける。左は千里病院の中谷敏院長

伊藤 当院にはムラージュという特殊メイクアップの勉強をしている看護師がいて、シナリオに合わせて特殊メイクでリアルな傷などを作ってくれます。現場の生々しさを再現するのに一役買っています。

シナリオに「工夫」「ドボン」にはまると患者が急変!

「ドボン」にはまると患者が急変! — そもそもメディカルラリーが始まったきっかけは?

伊藤 当センターの林靖之広域調整部長(元センター長)が、知人の招きで02年5月にチェコで開かれた国際メディカルラリーに参加したのがきっかけです。チェコ国内や近隣諸国から自前の救急車で駆けつけた参加者が、病院前救急診療の技術を競い合う光景は臨場感があり、衝撃的だったといえます。帰国後すぐにメディカルラリーの運営組織を作り、同年10月、当院に隣接する千里南公園で日本初のメディカルラリーを開催しました。

国際大会への出場から半年も経たないうちに初開催するとは、すごい行動力



子どもたちの想像を超えた行動力と発想力に驚かされ、真剣に取り組む様子にいつも感動させられる
リアルな救急現場を再現して119番通報や応急手当などすべてを子どもたちだけで考え行動する

「自分のスキルを伸ばすことができた」

「今後の学習意欲が湧いた」「災害医療の実践の重要性が学べた」「他施設の人と交流が持てた」など参加者の約90%が有意義だったと答えています。

開催費用はどう工面しているんですか。

伊藤 そのが最大の課題で、過去の実績では収入を支出が上回る状況が続いています。参加費だけでは賅えないので、企業の展示ブースを作ったり、ロータリークラブなどからも協賛金をいただいたりして、各方面のお力添えをいただきながら継続しているのが実状です。できる

チェコに追いつけ!

小学生対象のメディカルラリーもしています。全国的な経緯で?

伊藤 これもチェコで行なわれている子どものメディカルラリーに刺激を受けて始めたものです。チェコの小学校では応急手当の教育も実施。各校から優秀な児童が選ばれ出場しています。携帯電話で救急要請し、胸骨圧迫やAEDを使って心肺蘇生を試みたり、圧迫止血にチャレンジしたりするチェコの子どもの姿を見て、「日本でもぜひ取り入れたい」と痛感しました。

伊藤 当院は2012年から、小学5・6年生を対象にした「子どもメディカルラリー」を開催しています。過去の参加者には父親を心筋梗塞で亡くして、「救急隊員が倒れた父親を懸命に救命処置する姿を見て、将来は人の命を救う仕事をしたい」といつて参加してくれた小学生がいました。

伊藤 最近報告された研究論文によると、チェコのバイスタンダー(救急現場に居合わせた人)の心肺蘇生実施率は99%といわれます(日本は50%程度)。ヨーロッパ蘇生協議会の表明では「水泳をする、自転車に乗ると同じように精神身体技術の発展に

合わせて教育し、命の救い方を永続的に記憶させることが重要である」と書いてあります。デンマークやオランダなども小学生に心肺蘇生の方法を教えたところ、バイスタンダー心肺蘇生実施率が向上したという報告があります。救急現場の蘇生率を上げるためには子どもからの教育がとても重要です。

伊藤 学生を対象にしたメディカルラリーも行なっています。

伊藤 医学生・看護学生・救命救急学生を対象にしたメディカルラリーは2013年から始めました。救急医療に携わる医師・看護師・救命救急士を1人でも多く増やすための取り組みです。現在の医学部教育には、病院前救急診療の現場で実習する機会がありません。千里メディカルラリーを通じて病院前救急診療の意義と魅力を知ってもらい、将来一緒に救急現場に急行する仲間が増えることを期待しています。

伊藤 一回の子どものラリーで優勝したメンバーの一人が大学生になっていて、昨年、子どもラリーの講師として参加してくれました。地域の応急手当普及員として活動しているという話も聞いて目頭が熱くなりました。ラリーを通じてたくさんの子どもの人を思いやれる大人になってくれるとうれしいですね。

伊藤 第一回の子どものラリーで優勝したメンバーの一人が大学生になっていて、昨年、子どもラリーの講師として参加してくれました。地域の応急手当普及員として活動しているという話も聞いて目頭が熱くなりました。ラリーを通じてたくさんの子どもの人を思いやれる大人になってくれるとうれしいですね。



2023年トルコ・シリア地震の被災地で医療支援をする伊藤さんと千里病院の安村寛子看護師。緊張が続く毎日だからこそチームワークを大事にする(写真提供 JICA)

伊藤 ボランティアの協力も欠かせませんね。病者役・通行人役などは千里救命救急セン



濟生会
交差点
SAISEIKAI JUNCTION

濟生会にはたくさんの道があります。
道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。
そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。
「笑顔」です。



がん担当の薬剤師が抗がん剤を調製中

「この抗生物質は初回投与ですが、アナフィラキシーの可能性はないですか？ 看護師さん、抗生物質をいったんやめましょう。先生、アドレナリン筋注の準備をします！」

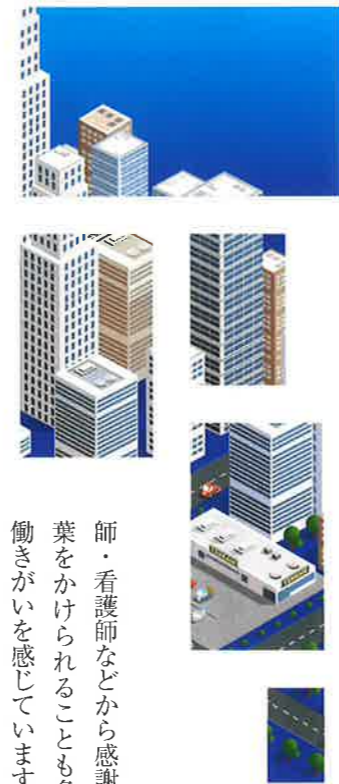
やはり患者さんは抗生物質によるアナフィラキシーショックでした。薬剤師がその場にいたからこそ、いち早く薬により生じた患者さんの不利益に気づくことができ、大事に至るのを防いだ事例です。救急や集中治療室では「私たちが気づくよりも早く指摘してくれ、的確な対処治療ができた」と医



集中治療に関する学位論文を作成し、熊本大学薬学部部長賞を受賞した集中治療室チーム（左から看護師、集中治療医、筆者、心臓血管外科医、看護師）



2022年4月発行の病院広報誌「piazza」では筆者が特集された



ると、抗菌薬が血圧低下の原因ではないかと気づきました。「この抗生物質は初回投与ですが、アナフィラキシーの可能性はないですか？ 看護師さん、抗生物質をいったんやめましょう。先生、アドレナリン筋注の準備をします！」

すべての患者により広く薬剤師のスキルを届けたい

私たち薬剤師が最も大事にしていることの一つに「薬を安全

に患者さんに届けること」があります。それは慌ただしい救急外来でも、重症の患者さんを診る集中治療室でも、薬の専門知識を持つ薬剤師に期待される大切な役割に変わりありません。薬剤師が専門性を生かして活躍できる場が、より多くの施設の救急現場などへも広がることを願っています。

患者さんが搬送される直前の初療室で、使用見込みの薬剤を確認【写真右】
ICUで持続血液ろ過透析中の患者さんの薬剤投与量を確認【写真左】



薬の専門性を 救急現場で発揮！ 患者の命を守る薬剤師

**救急認定
薬剤師のしごと**

熊本病院
薬剤部薬剤管理指導室長
(救急認定薬剤師)
柴田啓智

熊本病院には筆者ら3人の救急認定薬剤師が在籍しています。日本臨床救急医学会の認定資格で、救急医療における薬物療法の高度な知識・技術・倫理観・経験を備える薬剤師です。今年

1月時点で全国の292人が認定を受けています。急性期病院では病棟に薬剤師を配置するところも珍しくありません。しかし集中治療室や救急外来の初療室などに配置している病院はごくわずか。当院の救急認定薬剤師は、それらの最前線で活動しています。

患者さんの容態が一刻と変化する集中治療室では、腎臓や肝臓の機能が悪くなり、昨日まで適量だった薬が今日は過量となることもあり得ます。救急外来でも、患者さんが搬送前にと



熊本病院の救急認定薬剤師3人（中央が筆者）

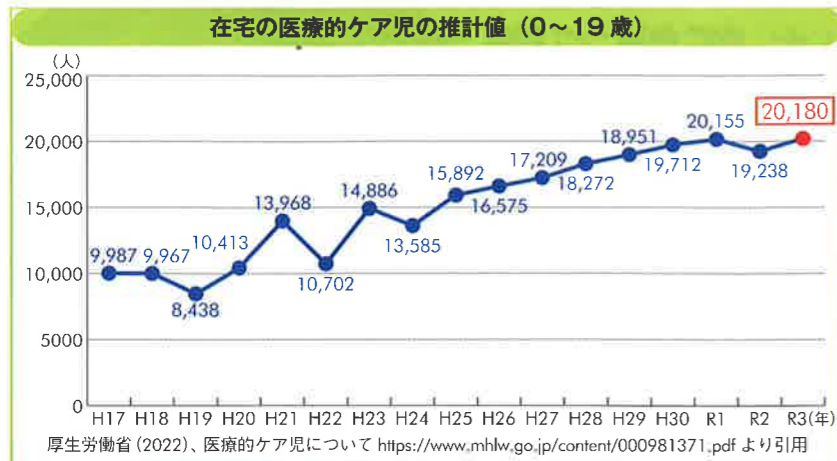
のような薬を使用していたのか把握できなかったり、副作用・アレルギー歴が聴取できなかったりすると、迅速な治療に影響も生じかねません。

そうした中で救急認定薬剤師は患者さんの容態を随時確認し、時に家族やかかりつけ医に話を聞き、薬を安全に使用するための情報を少しでも多く救急医療チームで共有する役割を担っています。

薬を一番に考える 薬剤師だからできること

「先生、患者さんの血圧が下がっています！」——集中治療室に響いた看護師の声に呼応し、医師ははじめ多職種で対処しながら、患者さんに何が起きているのかを探ります。心臓や血液の状態など確かめるポイントが多岐にわたる中で、薬剤師の筆者は真っ先に「原因は薬ではないか」と考えました。

この患者さんは心臓血管外科で開胸手術を行ない、術後管理目的で集中治療室に入室した人でした。そこで筆者はまず電子カルテの投薬歴に注目。すぐにアレルギーを起こしやすい薬と新たに開始された薬剤を確認す



送れるように支援し、医療的ケアを安全に親が実施する方法などをチームで検討します。

医療的ケアの指導は、親子の愛着を育む抱っこ・沐浴などの手技獲得から開始。次に吸引などを看護師が見守る中で実践してもらい、徐々に関与を薄めて在宅に近い環境へ移行します。併せて、医療的ケア児の家族同士の情報交換の場も用意します。

子どもの命と育ちを守る ロールモデルになるぞ！

こどもセンターは平均在院日数4日で急性期疾患の入退院が多く、医療依存度の高い医療的ケア児の対応に困難を感じる看護師も少なくありません。在宅施設移行が年間1、2件と少ないため、経験則で行ないづらい親への指導やケア調整に戸惑

う看護師も見られます。

こうした中で小児プライマリケア認定看護師は、子どもの体の状態や社会生活の変化、家族のライフイベントなどを捉え、子どもの命と育ちを守る実践者のロールモデルとなるのが目標。今後はスタッフ研修を進め、医療的ケア児の看護の底上げを目指します。そして入院・外来・レスパイト利用の患者さんすべてに起こり得る変化を予測しながら予防的視点で多職種と連携し、子どもが持つ力を維持・増進できる支援をチームで実施していきます。



子どもの健康支えるスペシャリスト 医療的ケア児の “当たり前”を目指す



小児プライマリケア認定看護師は日本看護協会による認定資格で、救急・外来・地域などのプライマリケアの場で、子どもの心身の健康や育児困難などの問題に広く対応できる能力を備えた看護師です。日常的に人工呼吸器や痰の吸引、経管栄養が必要な医療的ケア児が年々増加する中、在宅や地域の保育所・学校の看護の担い手としても期待が高まっています。

横浜市東部病院は2021年に同認定看護師を育成する教育課程を全国で初めて開講しました。初年度は北海道から九州ま

での全国から8人が集まり、788時間のハードな研修を1年間で修了した1期生全員が認定審査に合格。その1人が当院の宇都山奈保看護師で、こどもセンターで活躍しています。

私たちは チームの調整役

年間約30人の医療的ケア児が入院することもセンターの小児プライマリケア認定看護師は、MSW・PT・保育士・臨床工学技士・Child Life Specialist(医療環境下の子ども)・家族に心理社会的支援を提供する専門職)などの多職種と協働しています。本認定看護師の役割は、在宅で親が頑張らずに子どもも安全・安楽で、家族が当たり前前の生活を送れるよう多職種や支援機関の調整を図ることです。

たとえば成長過程の医療的ケア児はケアや在宅物品の見直しも要するため、現状を踏まえ



て各職種の役割を明確化する話し合いを行ないます。誤嚥性肺炎などで入院を繰り返す場合、本認定看護師はPTと在宅での姿勢やケア方法を振り返り、MSWと訪問看護の利用状況を確認しケア調整の必要性を見極めます。成長に合わせたケアで、入院回数減少などの効果を得て

います。

医療的ケア児の在宅移行の際には、親子の散歩や兄弟のお迎えなど当たり前前の生活を家族が

年間カリキュラムスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定看護分野		基礎科目 60時間 ・子どもの権利 ・子どもの成長発達 ・子どもとその家族理解 ・社会資源と多職種連携	共通科目 45時間 ・指導 ・相談 ・看護管理	専門分野 150時間 ・子どもと家族の支援技術 ・小児プライマリケア領域の子どもの特徴と病態生理 ・小児プライマリケア領域における看護 ・子どもとその家族への支援 ・医療的ケア児の看護 ・ケア調整と社会資源の活用								
特定行為研修		共通科目 335時間 (E-learning含) ・フィジカルアセスメント ・病態生理 ・臨床薬理学 ・臨床推論 ・医療倫理・医療安全 ・チーム医療			区分科目 338時間 (E-learning含) ・脱水の補正 ・高カロリー輸液の調整 ・気管カニューレの交換							
講義形式	E-learning		E-learning		E-learning		E-learning		E-learning		E-learning	
								実習・統合演習 165時間		ケース発表 修了試験		修了式

新人介護職員の成長記

〈和歌山〉
特養 潮光園
事務責任者
山崎良彦



筆者

し、ショートステイを含め定員は94人、現在は男性25人と女性60人が入居しています。平均年齢84歳・要介護度3〜5で足腰が弱い人が多く、移動は車いすが中心となるため、介護職員はベッドからの移乗にはとても気を使っています。

に出た藤田さんは「高校の福祉過程で学んだとはいえ、入居者さんの急な呼び出しや、移乗介助もおむつ交換も思うようにできず、わからないことばかりで……」と振り返ります。

施設からは「入居者さんは人生の先輩として意識し、困ったことがあれば自分だけで悩まず先輩に相談しよう」と話し、先輩職員が寄り添ってききました。



ユニットリーダーの小川さんとおやつ準備中

何もかも新鮮で驚き 毎日学び成長できた1年



「2年目も頑張ります!」
藤田真央さん



同期の留学生2人。ネパールのバンディ・アンジャナさん(左)とミャンマー人のエー・ミヤツ・エインさん(中央)

昨春入職した介護職員の藤田真央さんは「何もかもが新鮮で驚き」という毎日を潮光園で過ごしています。高校時代に清掃ボランティアで高齢者と関わり、「みなさんの笑顔を見るたび、安心して楽しく過ごしてもらえよう」と、介護福祉士にならなりたいと思うようになりました」という藤田さんの1年目の奮闘ぶりを紹介します。

4月1日の入職初日から現場
移乗、上手になったわね

介護時に意思疎通が図れない入居者さんの対応で悩んだときは、先輩介護福祉士の宮崎めぐみさんが「常に笑顔でシンプルに前を向いて仕事しよう」とアドバイス。「そうか、笑顔であいさつすればいいんだと楽になった」と藤田さんは言います。

移乗介助も、ユニットリーダーの小川元希介護福祉士が「最小限の力で介助するボディメカニクスを活用して、不安を与えないよう心がけて」とコツを伝授。オムツ交換も最初に全部用意しておくというスムーズに進むことを教えました。

実践を重ねたいまでは「藤田さんありがとう」「移乗、上手になったわね」と入居者さんに褒められるほど成長しました。藤田さんは特に次の二つを心がけているといいます。「まず入居者さんに、その人らしく快適に過ごしてもらおうこと。もう一つが看護師など他職種のみなさんとの連携です。報告・連絡・相談を大切にして密に協働すれば、私に対する信頼も築けるとも考えています」

同期3人で高め合う
そんな職場の同僚には、昨春

地域に根差し 障害者を支える

〈大阪〉
障害者支援施設
ふくろうの杜
施設長
町原誠治



「起こしますよ」と声をかけながら介助する藤田さん

一緒に入職したミャンマーとネパールの留学生もいます。「日本語も介護も一生懸命に学びながら笑顔で入居者さんに接する同期2人の姿に、私も頑張らなきゃ」と刺激されています」(藤田さん)。留学生も「藤田さんと一緒に私たちも成長したい」と話しています。

「気遣い力がすばらしい」

藤田さんを1年間見守ってきた浦崎弘之施設長は「確実に階段を登っていて頼もしい。2年目に向けた面談でキャリアアップ研修の受講希望を聞きました。喀痰吸引などの特定行為や認知症ケアの資格取得などにとんどんチャレンジしてほしい」とコメント。宮崎さんも「いつも笑顔で仕事も速くてスマート。特にすばらしいのは、常に周りのことを考え自然な気配りができること。その「気遣い力」に期待しています」と話します。



昨年12月に新築なった潮光園

二人からの熱いエールを受けて藤田さんは「真新しい施設はとっても働きやすい。新型コロナなどに気をつけて2年目も頑張ります」と述べました。

20年来、地域の期待に応え続ける よりよい意思決定支援を追求

交流を特に大切に

ふくろうの杜は「地域に福祉施設を」という大阪市の意向で、2002年4月に済生会初の知的障害者更生施設

(12年からは障害者支援施設)として開設し、昨年20周年を迎えました。設立経緯も踏まえ、地域との

して区内の障害者支援施設が毎



り」に利用者さんの家族・住民を招いたり、区内の団地で大阪



なでしこ
ファーム

焼き菓子のネット通販店
なでしこファーム



熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」
熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428

松山ワークステーション「なでしこ」
愛媛県松山市東山町 143 番地 Tel: 089-916-6959

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で
作ったお菓子を販売するネット通販店。
クッキーやケーキは、障害者が一生懸命つくりました。



済生会のトップページからアクセス!!
<https://www.saiseikai.or.jp>



新築落成式で故寛仁親王妃の信子さまから贈ったシルクフラワー

必ず寄り添って様子を観察し、よりよい意思決定支援にもつなげていきます。

この子を生んでよかった

コロナ禍の中ではイベントや外泊などは自粛が続いています。それでも職員は「利用者さんと一緒に楽しみたい」と、22年は夏に花火、食欲の秋はクレープづくり、冬もクリスマス会を実施しました。

これら行事のたびに思い出するのは、子どもの障害を悲観し親子心を考えたという親御さんの言葉。満面の笑みで楽しむわが子を目にし「こんな笑顔を見ると、やっぱり生んでよかった」——そう話してくれたのです。

私たちの現場は、無断外出への対応や利用者さん同士の関係構築のむずかしさに悩んだり、自立成長する姿に頼もしさを感じたりと悲喜こもごも。そんな中で先の言葉は、支援業務の意義の大きさ・深さを改めて教え

てくれました。

当事者本位の支援に徹する

ここ大正区は高齢化・人口減少が進み出生率が低く、市内24区で最も人口が少ない一方、障害者手帳の取得率は横ばいです。そのため、特に高齢化・重度化・強度行動障害などの課題を抱えた人を365日支援できる施設入所のニーズに応えることが大切。ふくろうの杜は今後「安全と安心のサービスの提供」

の理念を念頭に、貴重な地域資源の一つとして人材の確保・育成、ICT化推進などの課題を解決しながら専門性を発揮し、当事者本位の社会参加を進めていきます。

そして済生会の障害関連事業所とも連携し、昨年設けられた済生会福祉施設次世代幹部育成研修とリンクした意思決定支援の勉強会・研究なども積極的に進め、支援業務や地域移行などに生かしていきたいです。



施設名は、ギリシャ神話の知恵の女神アテナの聖鳥フクロウに由来する

通所
部門は、工賃を支給する作業（おしほり用タオルたたみ、機械部品のボルトとナットを組み合わせる、工具部品のワイヤー束ねるなど）やレクリエーションなど

を通じ、社会参加の場を提供しています。

入所では、毎日の入浴や口腔ケアなどで日々の健やかな暮らしを支えています。また誕生日には、本人の希望をかなえる個別プログラム「特別な一日」を企画・実施しています。

たとえば「絵を描きたい」という人は、車で万博記念公園まで遠出し思う存分、風景画を描いてもらいました。ほかにも温

泉好きな人はファミリー温泉にお連れし、おすしが好きな人は一緒に外食して思いっきり食べてもらう——など。リフレッシュを図る目的以外に、入所者さん個々に決めている担当職員

府済生会唯一のグループホーム「かばの木」(8人、06年開設)を運営したり。さまざまな場面で地域とつながる施設運営を心がけています。

「特別な一日」をかなえる

利用者は通所と入所の各50人と短期入所5人、平均年齢は45〜47歳です。60人の職員が利用者さんごとの個別計画に基づき支援しています。



- ①「おでかけして大好きなおすしを、一人でおなかいっぱい食べたい」の希望がかなってご満悦(「特別な一日」イベント)
- ②スーパーボールすくいやくじ引きゲームをした秋まつり(2021年10月16日)
- ③秋まつりでは職員と一緒にスーパーボールすくいを楽しんだ
- ④ペンギンの着ぐるみを着た職員と、お菓子すくいを楽しむ利用者さん
- ⑤楽しいクリスマス会でピース!

★健康と防災をテーマに★

京都で済生会フェア 竣工1周年記念

京都 済生会病院

京都済生会病院は、新病院竣工1周年を記念し、健康と防災をテーマにした済生会フェアを3月11日に同院で開き、地域住民ら約3100人が来場しました。

当日は病院を地域に知ってもらうためのイベントが盛りだくさん。災害医療を学べるトリア

ージ体験や病気などで倒れた人を救う一次救命体験、医療従事者のユニフォームを着て記念撮影をするコーナーには多くの家族連れが訪れていました。

当院初の済生会フェアは、有名人やタレントを呼ばず地域社会連携型イベントとして企画。

地元の企業や団体も参加、村田製作所はロボットチャリダーディング部の応援パフォーマンスを披露しました。子育て世代の女性を支援する団体によるマルシエヤ赤ちゃんイベント、オムロンヘルスケアの血圧・心電図測定体験、ユニクロによる障害者

や高齢者が脱ぎ着しやすい服の展示、乙訓地域の社会福祉協議会と共同で取り組んだフードパントリー、ココカラファイン薬局での調剤体験、向日町警察署、長岡京消防署のミニ制服体験と緊急車両との記念撮影会も行なわれ、来場者で賑わいました。

なでしこホールでは当院医師による市民健康講座や、向日町警察署による防犯・交通安全教室が行われ、「誰も取り残さない社会の実現のために」と題したトークセッションでは、中小路健吾・

長岡京市長、炭谷茂・済生会理事長、吉田憲正・京都済生会病院院長が登壇。行政・済生会・病院それぞれの取り組みから住み慣れた街で「暮らす」ために必要なことや医療や福祉の活動を通して地域社会のつながりを構築することに語りました。

午後2時46分には、12年前の東日本大震災発生に合わせイベントを一時中断し、犠牲者に黙とうを捧げました。

(京都済生会病院 企画広報室長 松岡志穂)



済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。
無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。
だれも排除されないまちづくりを目指し、
全支部・施設が1696事業を展開します。

なでしこプランを知って！ 病院ロビーで広報イベントを開催

熊本病院



熊本病院は2月28日～3月2日の3日間、社会福祉事業を担当する医療福祉相談室を中心に、生活困窮者

支援事業なでしこプランの広報イベントを1階ロビーで開催しました。
済生会の歴史や役割、社会福

ました。
そうした中で、同大学が2023年度から掲げる「人に寄り

添うひとを育てる」という教育目標と、「社会的弱者を支援する」という済生の精神の方向性

もその人らしく働ける機会の提供」や、「刑余者および外国人などの生活困窮者に対する生活支援物資の提供」の様子をパネル展示で紹介しました。
ほかに、なでしこプラン広報グッズ（オリジナルの除菌ウェットシートなど）や、当院の社会福祉事業を特集した広報誌のブースも設けました。連日、多くの患者さんや来院者さんが



社事業の取り組みのほか、当院が推進している「障害があつて

が一致していることから、今回の協定締結に至りました。
今後は大学からボランティア



生活に必要な物資の支援も紹介

立ち寄り、済生会の理解を深めていただきました。
(済生記者 東 賢剛)

を受け入れるほか、臨床心理に関する共同研究を行なうなど幅広い事業で連携していきます。
(経営戦略課 木山浩平)



奈良病院

福岡 二日市病院

筑紫女学園大学と 包括連携協定 地域の発展と人材育成を目指す

二日市病院は3月14日、筑紫女学園大学との包括連携協定の調印式を当院第一会議室で締結

しました。地域の発展と人材育成のため、互いの人的・知的資源の交流を図るのが目的です。

参加 職親プロジェクト10年記念連絡会 全国済生会刑余者等支援推進協議会も

日本財団職親プロジェクト関西連絡会議が2月20日に大阪で開催され、全国済生会刑余者等支援推進協議会会長の筆者が参加しました。
来賓に社会貢献支援財団の安倍昭恵会長、刑余者支援に積極的な東大阪市の野田義和市長などを迎え、日

本財団や大阪矯正管区、各地の刑務所・少年院の代表者や職親プロジェクトメンバーなど約200人が参加しました。
会議では職親プロジェクトの中井政嗣代表らが、刑余者支援活動の重要性などを強調。そのほか矯正施設を出所・出院し会員企業に就職した人の現況報告、矯正施設における更生支援事業の内容・実績、職親企業や支部の活動報告も行なわ

当院と筑紫女学園大学とは直線距離で4キロメートルほどと近く、中川正法学長には当院の地域医療支援病院運営委員会の委員を務めていたなど、もともと深い関係があり

この模様は同23日のテレビ大阪「やさしいニュース」で紹介されました。
(奈良病院 副院長兼事務部長 森川 篤)



22年度3回目の無料健診事業 更生保護施設から14人



〈栃木〉宇都宮病院

宇都宮病院は2月21日、更生保護施設入所中の生活困窮者を対象に、2022年度3回目の無料健診事業を実施しました。栃木県内には更生保護施設が2カ所あり、双方から計14人が来院。その送迎は、NPO法人栃木県就労支援事業者機構が



就労支援事業の一環でバスを出してくれました。
受診者は身長・体重・血圧・視力・聴力・腹囲・肥満度を測定したほか、採血・採尿・心電図・胸部X線も実施し、内科医が診察しました。
受診した女性は「コロナ禍で更生保護施設の生活も制限があり、ストレスを感じるなど

フードバンクうつのみやへ 非常食や職員提供の 食料品を寄贈



宇都宮病院は1月24日、賞味期限切れが迫った災害用非常食料品などをフードバンクうつのみやへ寄贈しました。

今回、お贈りしたのは非常食ひだまりパン648食分と職員に寄付を募り集まった食料品(米・レトルト食品・缶詰・お菓子など)です。稲見一美地域連携課長(MSW)は「今後も引き続き、少しでも多くの人の笑顔につながるフードロス削減に努め、SDGsの目標達成に向けて地域コミュニティの活動を支援していきたい」と話しています。

長引くコロナ禍で、フードバンクに対する需要は高まっています。当院では食品のムダをなくし、地域に根ざした取り組みをこれからも進めています。
(地域連携課 秋山綾香)

健康面に不安はある。でもお金がかかるし、健診を受けることなく過ごしてきました。今回無

料で受けられ感謝しています」と述べました。
(地域連携課 秋山綾香)

あなたの写真が カレンダーに!?



【大好評のため、今年も実施します!!】
11月号までに掲載された記事の中で、良い表情をとらえた写真が対象

11月号までに掲載された記事の中から編集部が厳選、カレンダーにしてプレゼント! カレンダーのサイズは、済生会の「なでしこの花カレンダー」と同様です。当選者は本誌にて発表します。応募の詳細は【撮影】大きく引き延ばすので正確なピントと適切な露出に【構図】横。画面に撮影の日付が入っているものは審査対象外【写真の規格】写真はデジタルデータに限り、サイズは1MB以上【送付方法】いつも通り、原稿と写真をセットにして本部広報室・下記メールアドレス宛に送ってください。写真のデータ量が大きい場合は大容量ファイルで送ってください【参加資格】本会支部・施設の職員

koho@saiseikai.or.jp

今年もやります!



Text: みやじまなおみ
Photos: 安友康博

Hair & Make-up: HIROKO (secession)
Styling: 濱中麻衣子

ふんわりした優しさの奥にある母の思い。 子どもをギュツと抱きしめて！

昨秋からラジオ番組のレギュラーパーソナリティーとして出演中の山口もえさん。「最初にお話をいただいたときは、『え、私にラジオですか?』と思わず聞き返してしまいました。なぜなら滑舌もよくないし、もともと引つ込み思案な性格で、生放送でリスナーさんのおたよ

りを読むなんて私にできるのかしら?……と。でも、飛び込んでみたら必ず学びがあるはずだと、思い切ってお引き受けすることにしました」
出演するにあたっては、まず夫である爆笑問題・田中裕二さんに相談し、子どもたちの朝ご飯や学校への送り出しを頼める

か確認したのち、家族会議でOKをもらったのだとか。

働くママから寄せられる子育ての悩みは、自身も経験してきただけに共感することが多いという。特に長女を出産後2カ月で仕事に復帰したとき、もつと子どものそばにいたい自分と働きたい自分がいて、心の葛藤があったと山口さん。

「でもある人に、子どもが親を頼ってくれる時間は思った以上に短いと教えてもらって、子育ての意識が変わったんです。以降ずっと心がけてきたのは、子どもをたくさん抱きしめること。そして、親であつても間違えたら謝ること。長女は高校生になった今も時々『ママ、ギューして!』と甘えてくれます(笑)。どんなに忙しくても、子どもとの濃密な時間は大切にしていきたいなと思っ

やまぐち・もえ 1977年生まれ、東京都出身。17歳でCMデビュー。『マツモトキヨシ』のCM「なんでも欲しがるママちゃん」役が話題になり、バラエティ番組、ドラマなどで活躍。おっとりしたキャラクターで人気に。2007年に長女、11年に長男、17年に次女が誕生。夫は爆笑問題・田中裕二さん。ホリスティックビューティアドバイザー、野菜ソムリエプロなどの資格を持つ。



NHKラジオ第1『ふんわり』

NHKラジオ第1で月曜～金曜8:30～11:50に生放送している番組。各曜日のパーソナリティーの温かいトークがリスナーの生活をふんわりと包み込みます。山口もえさんは月曜日を担当し、子育ての悩み、同世代の女性が抱える問題などを専門家に伺うほか、野菜ソムリエプロの資格を生かした食べ物の企画などお届けします!

山

口

Moe Yamaguchi

もえ

20代の頃から変わらないおっとりしたキャラクターで人気の山口もえさん。現在は高校生、中学生、5歳の3人のお子さんのママでもあります。仕事と子育ての両立に格闘していた30代を振り返り、大切にできたことは何か、お話ししていただきました。



Vol. 155

衣装協力:
●ワンピース/ワッカ
●イヤリング/1DKジュエリーワークス
ともに ドレスアンレーヴ (03-5468-2118)

口福につぼん

吉井省一



済生会の「病院・施設」がある
県内の市町村

よしい・せいいち 一般社団法人日本作詩家協会理事。コピーライター時代に老舗百貨店の食の通販誌で約30年執筆に携わり、試食した食品の数は1万点を超える。

小 さい頃の私は、町内会や親戚の集まりなどで、軽食に「おいなりさん」を出されると、決まってげんなりしたものでした。甘辛く煮た油揚げを袋状にして酢飯を詰め込む、そのつんと鼻をつく酢の匂いやご飯の甘さがあまり好きではなかったからです。

そんな私が、「口福につぼん」でおいなりさんを取り上げる日が来ようとは……。

今回ご紹介する「串いなり」が私の食の好みを変えてしまうほど美味しかったからなのか、それとも私の舌がようやく大人になったからなのか。その答えは、このエッセイを読み終えればわかるはずですよ。

竹串にきれいに並んだひと口大のおいなりさん



若き店主は、朝に晩にと串いなりを作るだけでなく、研究にも余念がない。写真は串いなりの胡麻味を発展させた「至極の胡麻いなり」

それにつけても「おいなりさん」とは、不思議な食べ物です。何しろ、ご丁寧に「さん」ま

んにびったり。また、あまり知られていませんが、福井県民は油揚げが大好き。県庁所在地の福井市は何と60年間、油揚げ消費額が全国一位。「串いなり」に使っている油揚げは地元のお豆腐屋さんの大判の薄揚げで、これを

「串いなり」は、冷凍された職人仕立ての味わいに名物の山うにを添えて竹皮の折り箱に入った



店主の近藤一輝さん

串いなり

ひとさき

福井県鯖江市



鯖江・河和田地区の伝統菜味「山うに」。まずは付けずに食べ、それから付けて「大人の味」を楽しもう

かけて抽出したお出汁ならでは高い香りとたっぷりの旨み。ご飯に使っているお酢は、おいなりさんには珍しい赤酢で、その味付けも濃からず薄からず。



店主こだわりの製法のため、注文してから手元に届くまで、7～10日待たなければならない。それでもリピーターは絶えないという

強い酢の香りが苦手な私でも、酸味がまるやかな赤酢なら食べやすく、逆にコクと旨みが強く感じられ好物になりそうな予感。一年を通して取り寄せられる「胡麻味」と「大葉味」の2種類が1セットに。胡麻は金胡麻と黒胡麻がたっぷり入っているの

で香りと歯応えが楽しめて、大葉も風味が鼻に抜けてさっぱりした味わいです。竹串に刺さっているの、つい手づかみで食べて油揚げの油が手についてしまうことありません。さらに新たな味わいを楽しむために付いているのが「山う

に」。これは、柚子や赤なんば（完熟しし唐）、鷹の爪（唐辛子の品種）、塩を、すり鉢で丹念にすり混ぜて作られる、鯖江市河和田地区に古くから伝わる菜味。これをつけて食べると、柚子がほんのりと香り立ち、ほど良い辛みで食欲もかきたてられて、つい「もう一串！」となるわけです。他にも「原木しいたけ味」「黒毛和牛味」など、季節や月限定のものもたくさんあるので、お取り寄せ時にホームページや電話でお確かめく

串いなり12本（胡麻味6本・大葉味6本・山うに付き）
3,960円（税込・送料別）
賞味期限……商品製造日より45日（未開封／マイナス18℃以下で保存）

お取り寄せ・お問い合わせは

一咲【ひとさき】
〒916-0044 福井県鯖江市五郎丸町102-1 堀ビル1階
TEL: 080-8995-2204 営業時間: 8:00～19:00
ホームページ: <https://hitosaki2019.thebase.in>



3時のおりがみ ティータイム



ロールクッキー

1 左右の辺を折る

2 半分に折る

3 くるくると巻きのりづけする

4 細く切った折り紙を巻く。これを3個つくる

チョコクッキー

1 1/4サイズの折り紙の左右の角を中心線に合わせて折る

2 裏返す

3 上下の角を折る

山折り
谷折り
裏返す

4 四角の角を折る

5 裏返す。これを3個作る

ティーカップ

1 左右の辺を折る

2 下の辺を折る

3 折り返して折り目を付ける

4 指を入れ開くように折る

5 図のように折る

6 上の辺を折る

7 裏返す

8 左右の角を折る

9 下の辺を折る

10 下の角を折る

11 図のように折る

12 裏返す

13 マスキングテープやシールを貼って模様を入れる

【いまいみさ】 手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えていきます。著書に『春夏秋冬で楽しめる おりがみ壁飾り』など37冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」（三省堂版）にも登場。「季節のイベント折り紙」（日東書院）など多数。

動画もcheck!

作品・折り図：いまいみさ
おりがみ協力：株式会社トーヨー



〈福岡〉飯塚嘉穂病院がクラウドファンディング実施中！緩和ケア病棟の庭園を改修して患者さんが大切な人と過ごす時間をお届けします。写真は緩和ケア病棟のスタッフ。色鉛筆画と3Dイラストは、済生記者の春口勇介さんが作成しました。この記事は37ページを参照してください。



アンテプのオーゼリ町の職業訓練学校に活動サイトを展開。兼古課長は医療調整員（ロジスティックス）として、診療サイトや隊員の生活サイトのインフラ

整備・管理を担当しました。「隊員同士の支え合いと住民の激励・労いに支えられ、一方向的な支援ではなく、住民に寄り添った医療支援のお手伝いができました。現地のみなさんとは言葉は通じなくとも、互いに心からの敬意をもって接し、相手を思いやる気持ちに国境・宗教・人種の壁はないと改めて感じました」



名古屋市内の中学生10人が2月2日、職場体験学習で来院しました。進路や生き方を見つめるきっかけとし、人との触れ合いや職場体験を通して社会人と

**愛知県済生会
リハビリテーション病院
ユニホーム似合ってる！
中学生の職場体験学習**

なったため国際緊急援助隊医療チームは活動を終えましたが、現地の復旧・復興は続きます。
（済生記者 橋本 茜）

topics

**豊かなまちづくりセミナー
3年ぶり28人が参加**

〈山口〉豊浦病院

豊浦病院は2月16日、第4回豊かなまちづくりセミナーを当院大会議室で開催し、近隣の診療所医師や医療・介護関係17機関から計28人が参加しました。



本セミナーは「相談しやすい病院」「暮らしやすい地域」を目指した、顔

の見える関係づくりの場。コロナ禍で3年ぶりの今回のテーマは「褥瘡」。当院褥瘡対策委員会の隅田敏和副看護部長の講義を中心に、藤村裕華管理栄養士と中丸浩一作業療法士が、各専門の視点から褥瘡予防について話しました。

その後のグループディスカッションでは、地域のみなさんと当院スタッフで意見交換。マスク着用ではありましたが、久しぶりに互いの顔が見えるよい機会になりました。

（PFMセンター 医療ソーシャルワーカー 安村友里子）

★地域の医療関係者が集まって、医療や福祉を通じて住みやすいまちを考える。頼もしいです。
（本部広報室 河内淳史）

**兼古課長、トルコ南東部へ
JICA国際緊急援助隊で**

〈大阪〉吹田病院
当院地域連携課の兼古望課長はJICA国際緊急援助隊の一員として2月23日から約2週間、トルコ・シリア大地震の医療支援で現地に赴きました。

国際緊急援助隊医療チームは、震源に近いトルコ南東部ガズィ

**無印良品とコラボ
出張販売会で院内販う**

福井県済生会病院

福井県済生会病院では昨年末から、無印良品を展開する良品計画とのコラボ企画を進めています。2月28日にはその一環で「無印良品出張販売会 in 福井県済生会病院」を開催しました。



院内の特設スペースに食品や生活用品などの商品を並べ、来院者向けワークショップで「ジュートマイバックの飾りつけ」を実施。コロナ禍以降、久しぶりに病院がにぎわいました。

良品計画は「感じ良い社会」が広がる未来を描いており、当院が取り組むソーシャルインクルージョンと方向性が合致します。出張販売会は毎月1回の定期開催を予定しており、ほかにもさまざまなコラボ企画が進行中です。

（総務・企画課 山村健太）

〔三重〕 松阪総合病院

清水院長から竹上市長にトルコ・シリア地震救援金

当院の清水敦哉病院長は3月15日に松阪市役所を訪問し、2月に発生したトルコ・シリア地震の被災者支援の義援金を、日本赤十字社三重県支部の松阪市地区長を務める竹上真人市長に手渡しました。



清水院長は「今回はトルコへ赴くわけにはいかないが、せめて私たちの思いを届けたい。コロナ禍後は南海トラフ地震の対策を進めないといけない。トルコ地震は本当に他人事ではない」

松阪総合病院では3月初旬から院内各部署へ募金箱を回して義援金を募りました。総合受付カウンターにも募金箱を設置し、来院するみなさんにも協力を呼びかけました。東日本大震災では、被災地の陸前高田市へ支援に駆け付けた

と述べました。職員一同、被災地の日でも早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

(済生記者 田端雄輔)

16人を永年勤続表彰式

東神奈川リハビリテーション病院



東神奈川リハビリテーション病院は3月14日、永年勤続表彰式を地下講堂で行ないました。

今回の表彰者は、勤続10年9人(本部署表彰)、同15年5人(支部表彰)、同25年2人(支部表彰)でした。職

員の長年の功労をたたえ、江端広樹院長から一人ひとりに表彰状と記念品を授与しました。表彰者のみなさまおめでとうございます。ますますの活躍を期待します。

(済生記者 佐藤貴啓)

〔神奈川〕 横浜市南部病院 新人が1年間の成果を発表

横浜市南部病院は2月13・14日の2日間、新卒採用者が1年間の成果を発表し合う「なでしこ成長発表会」を開催しました。病院幹部・先輩や同期が見守る中、初期臨床研修医・看護師・薬剤師など多職種の新卒採用者約80人が、この1年で学んだこと、できなかったこと、2年目に向けた抱負などを発表しました。不慣れな人前でのプレゼンテーションに緊張気味の1年生。「同期の頑張りがわかり力にな



った」「他職種の同期の話はチーム医療の助けになる」「2年目に向け励みになった」と刺激を受けていました。さらなる飛躍に向けて、この経験を糧に頑張れ!

(地域医療連携室 齊藤一篤)

ニューボーンフォト、ただ今、進化中

山形済生病院

昨年11月にリニューアルオープンした周産期センターでは、新生児期の姿を写真で残すニューボーンフォト活動を行なっ

ています。リニューアルに関する話し合いの中で若手スタッフが提案。現代の妊婦さんのニーズにぴったりで、撮影現場はた

〔大分〕 日田病院

子の巣立ちを見届け 施設は新ステージへ

託児所なでしこは3月14日に巣立ちの会を行ない、5人の子に修了証書を手渡しました。1年前は人見知りで一歩踏み出さずのをためらっていたみんなが、立派に返事をして受け取る姿が頼もしかったです。

当院は4月から託児所の委託業者を変更します。新しい託児

所ではおやつを導入し利用料金の値下げも行なって、利用者の利便性向上を図ります。

そして5月8日から新型コロナウイルスが5類感染症に変更となる中、日田病院とのコラボレーションイベントも予定しています。イベントを通じ少しでも、コロナ前のような明るく笑顔があふれる託児所に戻っていただけると願っています。

(総務課 鷹野勇介)



さんの笑顔で溢れます。カメラマンは病棟助産師。「わあいいですね」「こんな風にしませうか……すてきです」「かわいいですね」——そんな声をかけながら行なうフォト撮影は、妊婦さんにとって入院生活の気分転換になり、信頼関係の構築につながっています。コロナ禍で面会禁止が続く中、楽しい撮影がメンタルの安定にも一役買っています。

妊婦さんに好まれる色や撮影スタイルなどを模索し、日々進化中の当院のマトニティ・ベビーフォトに乞うご期待!

(看護部 岸 あき子)



「まんなかテラス」居場所づくりで大活躍
段ボールハウスが評判 追加注文明

〔新潟〕特養長和園

昨年5月に始めた地域貢献活動「みんなの居場所 まんなかテラス」。その活躍が少しずつ地域に知ってもらえるようになってきました。取り組みの一つを紹介しましょう。

でしこ青空保育園にプレゼントしました。その評判が口コミで地域に広まり、市内の障害者施設から注文をいただいで二つ目を作製中です。地域の期待に応えられるようこの活動をさらに地域に広めていきます。

（済生記者 西川まゆみ）

〈新潟〉でしこ青空保育園
段ボールハウスもったよ

2月28日に手作りの段ボールハウスが届きました。長和園の地域包括支援事業の一つ「みんなの居場所 まんなかテラス」の利用者さんの贈り物です。

開け閉めできる扉があり、窓にはかわいい飾りも付いていて子どもたちは大喜びで遊び始めました。

「いらつしゃいませー、ジュース屋さんです。なににしますか？」——店員とお客さんになってお店屋さんごっこをしたり、中でゴロンと横になったり、か

くれんぼをしたり。思い思いの遊び方で楽しんでます。すっかり段ボールハウスの中がお気に入りの場所となり、笑顔溢れる子どもたちです。

（済生記者 渡辺美咲）



チームで命を守る！

〈茨城〉龍ヶ崎済生会病院

本院の救急連絡会が3月5日、チーム蘇生の質をさらに高める目的で「たつこのICLS（蘇生トレーニングコース）（日本救急医学学会認定）を開催し、職員6人が受講しました。

院内で起こる突然の心停止にチームで適切・迅速に対応できるように、訓練用的人形を用いて実践的に学びました。

受講者は「気管挿管や除細動器を実際に使用できたのがよかった」「インストラクターが緊張をほぐしてくれ、実技も楽しく学べた」と述べました。

救急連絡会の看護師・岡野俊江さんは「救急救命士がメンバーに加わり、従前以上に活発な活動が可能になりました。定期的に開催し「チーム蘇生」の質



をいっそう高めていきたいです」と意気込みを語りました。

（済生記者 堀越琴美）

滋賀県病院
澤PTTが八戸国体に参加
県トレーナー派遣事業で

滋賀県病院の理学療法士の筆者は、スポーツの現場でアスレティックトレーナーとしても活動しています。

2025年

の滋賀国体に向け、滋賀県は競技力向上のためにトレーナー派遣事業を実施しています。その一環で筆者は、1月28日から2月5日まで開催された八戸国体に、滋賀県のアイスホッケー少年男子チームのトレーナーとして参加。感染・傷害の予防、応急処置、



コンディショニングなど選手への健康管理全般を任せられました。チームは残念ながら、強豪の栃木県に敗れて初戦敗退となりましたが、大きなけがや病気がなく大会を終えました。選手へのさらなる競技力向上のためには健康管理は重要です。引き続きサポートに務めます。

（リハビリテーション技術科 澤 大輔）



看護学校の同級生と一緒に「どこでもポリス」をアピール。右から2目目が加藤さん

2年次生の加藤さんに静岡県警から感謝状

静岡済生会看護専門学校

本校2年次生の加藤碧さんは静岡県警察が2月から運用開始した防犯アプリ「どこでもポリス」の名称を考案し、このたび同県警から表彰されました。

「どこでもポリス」は身近な犯罪の情報や、「防犯ブザー」「ちかん撃退機能」などを備えたアプリです。加藤さんは同県警の防犯ボランティアも務めており、コロナ禍で地域とのつながりが気薄になっている中、防犯に関心を持ち、安心して生活できるように貢献しています。

感謝状を受け取った加藤さんは「これからも地域で役立つ活動をしたい」と語りました。

(教務科 大畑浩美)

63人が学ぶ 奈良県済生会コンプライアンス遵守

奈良県済生会は2月15日にコ



ンプライアンス研修を開催し、奈良病院・中和病院・御所病院・老健シルバークケアまほろば・奈良支部の管理職など63人が参加しました。

講師にキャリアコンサルタントの黒野正和氏を招き、「医療福祉施設におけるコンプライアンス遵守の重要性」について講義していただいた後、「正しい行ないの選択」に関するワークを行いました。

コンプライアンス違反発生原因として①コンプライアンス管理体制が甘い②法律に関する理解が不足している③発見・報告できる仕組みが整っていない④

職員業務に対するプレッシャー・不平不満がある——ことを学びました。コンプライアンス遵守の重要性を再認識した受講者には、各現場での伝達講習を依頼しました。

(済生記者 藤川羽衣)

東神奈川リハビリテーション病院 保育室でお別れ会

院内のかなっこ保育室が3月12日に、卒園児4人のお別れ会



を開きました。最初は泣きながら保育室に通



春レクで天草へおでかけ

障害者の就労を支援する多機

つてきた子どもたちも、先生が愛情をたっぷり注いでくれたおかげで、いつの間にか笑顔が増え、元気に通ってくるようになりました。

友だちもたくさんできて、心も体もたくましくなった子どもたち。卒園後のいっそうの成長と活躍を楽しみにしています。

(済生記者 佐藤貴啓)

熊本福祉センター・済生会ウイズ



能型事業所・済生会ウイズは2月18日、就労継続支援A型の従業員7人、同B型利用者22人・職員7人で大型バスを貸し切り、春のレクリエーションで天草に出かけました。

午前中は別行動。A型従業員は海中水族館シードーナツの館内を散策。B型利用者は天草五橋クルージングに参加し、海風に当たりながらきれいな景色を満喫しました。

昼から合流しリゾラテラス天草内のレストランへ。ナイフ・フォークで食べる料理にドキドキしつつ、「こんな野菜初めて見た」「お肉大きい」「塩パンおいしい」と、おしゃれな料



理に舌鼓を打ちました。

(支援員 池田真呂)

〈福岡〉飯塚嘉穂病院 クラウドファンディングで緩和ケア庭園を改修

当院は緩和ケア病棟の庭園の改修を、READYFOR株式会社のクラウドファンディングを活用して行ないます。

筑豊地区初の当院緩和ケア病棟は2011年の開設以来、延べ約900人の患者さんの看取りケアを行なってきましたが、10年以上経過し、職員の管理だけでは景観保全が難しくなってきました。

そこで美しい景観を取り戻し、車いすで散策もできる通路も確保するなど、患者さんとご家族にとつてより

利用しやすい庭園にする計画です。

今回のクラウドファンディングでは資金調達はもちろん、飯塚嘉穂病院の思いを広く伝えるPRも目的の一つ。3月下旬の公開に向け、職員一丸で準備を進めています。



(済生記者 春口勇介)

〔栃木〕宇都宮病院
栃木県消防防災航空隊と
重症患者搬送訓練

当院救急・集中治療科の医師と救急救命士が3月12日、栃木県消防防災航空隊と協力し、重症患者搬送シミュレーションを行いました。

さまざまな重症患者を想定し、パッケージングや機内仕様を変えながら、最適な搬送方法を探



りました。

当院救命救急センターの小倉崇以センター長は「災害時、感染症パンデミック時には、局所的に医療需要が供給を大きく上回る医療崩壊が起こり得ます。その中でも救える命を救うために、医療圏を超えた広域搬送が必要」と話しています。

当院は今後も、消防と共同で定期的なさまざまな訓練を繰り返し有事に備えます。

（地域連携課 秋山綾香）

東神奈川リハビリテーション病院
合同就活セミナーに出展

東神奈川リハビリテーション病院は3月4日、ベルサール渋谷ガーデンで開催された「マイナビ看護学生就職セミナー」に出展しました。

看護部長のほかに1年目の看護師・事務員2人ずつが会場にスタンバイ。セミナーは盛況で約650人の看護職志望の学生が集まりました。

当院ブースには回復期に興味のある学生が来場。看護部長が説明する病院の概要や特色を熱心に聞いていました。1年目の



看護師は仕事や自身の就職活動を対話形式で話しました。

（総務課 清水春菜）

コロナ禍で支え合った3年
20人へ卒業おめでとう

〔埼玉〕川口看護専門学校

川口看護専門学校は3月3日に卒業式を行ない、3年課程を修了した20人が看護の道へ巣立ちました。

大変な3年間だったと思いますが、新型コロナウイルスが感染

拡大する中で入学し、すぐに緊急事態宣言が出て授業開始は2カ月遅れました。その後も授業はオンラインで、研修やイベン



トは中止が続出するなど、この卒業生たちは数多くの制約の中で、仲間や先生と支え合い努力を重ねてきました。

（済生記者 原 衣里奈）

〔千葉〕習志野病院
新しい救急車、運行開始

習志野病院はこのたび、習志野市から譲渡された救急車の運行を開始しました。

従来の救急車は患者さんの緊急搬送や、2019年の台風15号に伴う千葉県風水害のDMATの緊急搬送などに長年使用し、入れ替えを検討していました。

当院では緊急車両の運転担当者、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）の「一般緊急自動車運転技能者課程」の修了を要件として課しています。現在8人がこの研修を修了し、救急搬送に対応できる体制です。



千葉県地域災害拠点病院として習志野市を含む近隣の行政機関と密接に連携し、求められる役割にしっかりと応えていきます。

（総務課 佐藤昌明）

滋賀県病院
葉山東小でがんの授業

当院健診センターの河原絵里医師と小島真世医師、診療放射線技師の鰐部亜砂子技師の3人が2月21日、葉山東小の6年生74人にがん教育授業を行いました。



がん教育授業は新学習指導要領で導入された新しいカリキュラムで、がんの種類・予防・治療などの基本知識に加え、がん患者さんとの共生の中でのいちについて深く考えてもらえるように授業を組み立てます。

（健診センター 鰐部亜砂子）

京都市済生会病院
特定行為研修生2人の
実習を受け入れ

京都市済生会病院は2月、日本看護協会神戸研修センターで特定行為研修を受講中の感染管理認定看護師2人の実習を受け入れました。

感染症医が抗菌薬について、指導医と腎臓内科医が脱水や低ナトリウム血症について、それぞれレクチャー。各症例の主治医は、実習生が考えた治療計画



に真剣に耳を傾け助言を惜しまず、2人とも「すごく勉強になる」と喜んでいました。

「とても魅力的な施設で、先生方にはお忙しい中で丁寧にご指導していただき、多くの学びと刺激を得ました」（さぬき市民病院・井原由弘さん）

「京都済生会病院で実習できたことに感謝します。一丸となって私たち実習生を支援していただける、すてきな病院だと感じました」（安岡病院・宗貞健一さん）

（感染管理特定認定看護師 岡本敦子）

52人でQC発表会

東神奈川リハビリテーション病院

100%を目指す回復期戦国時代を生き延びるためには（医療福祉相談室）④「回復期リハ

第3回QC発表会を2月14日に院内で開催し52人が参加しました。エントリーは次の6題。①「ITを活用した業務の効率化について」（総務課）②「医事課内勉強会について」（医事課）③「病床稼働

ピリ病棟における介護福祉士との多職種連携を目指して」（2階病棟）⑤「身体抑制軽減への取り組み」（3階病棟）⑥「適切な排泄ケアとオムツ・パッド選定の見直し」（4階病棟）。

（医事課 佐藤貴啓）

医学生が「地域医療に興味をわいた」

日向病院は2月20日からの3日間、宮崎県が主催する「地域医療ガイダンス」の一環で、日向市出身の宮崎大学医学部1年生の実習を受け入れました。県内出身の医学生にへき地の公立病院などで地域の生活・医療を実体験してもらい、理解・興味を醸成して県内の地域医療の担い手を確保するのが目的です。

林克裕院長の下で内科外来診療を実習し、薬局で化学療法剤の調剤説明を受けたほか、各部署



〈宮崎〉日向病院



を回りました。中でも訪問看護では訪問看護師に密着し、在宅患者さんとも話しました。医学生は「在宅医療を目の当たりにし、地域医療の大切さがより実感でき興味をわいた」と述べています。

（済生記者 村尾 愛）

〈福岡〉飯塚嘉穂病院
身寄りがない人の支援とは
支える側のつながりも大事

飯塚医療圏の5ブロック地域包括推進協議会を2月15日に開催し、在宅支援に携わる地域の関係者73人が集いました。地域課題の把握と解決策を見出し、住みやすいまちづくりを目指す会議で、今年度2回目。前回は行った身寄りがない人の支援の実際のアンケートで「支援を難しくする要因は、手続きに関する」と判明。

そこです、今ある社会資源を正しく理解し活用できるようにするため、この日は権利擁護事業のレクチャーを外部講師の講義で学びました。加えて身寄

りのない人の事例を共有し、地域課題を顕在化させました。身寄りのない人を支えていくには、支える側もおひとりさまではなく、つながっていくことが重要です。今後はどの支援者でも対応できる、地域課題に即した共通のガイドライン作成を進めていきます。

（地域医療連携室 岡松佳央里）





アフターコロナの病院運営を幹部職員に

〔鳥取〕境港総合病院

佐々木祐一郎病院長が2月14日、アフターコロナを見据えた今後の病院運営について当院会議室で説明しました。常勤医師と各部署の所属長全員約60人が参加。病床機能の一部転換や敷地内薬局誘致の方針、接遇マナーの向上、新病院建設の必要性などについて説明を受けました。

出席者はみなメモを取るなどして、最後まで真剣に佐々木院長の話の話を聞きました。

〔総務課 坂本佑太〕

行ないました。今回の修了者は、前者が8人（外科領域コース5人・在宅領域コース3人）と、後者が9人。神奈川県済生会支部の赤星透支部長が特定行為研修修了生へ、丸山路之統括院長補佐から小児プライマリケア認定看護師教育課程修了生へ、修了証を手渡しました。

修了生には、「各現場のキー

パーソン」として調整役を担い、チーム作りの中心となることを期待している」（研修責任者・渡邊輝子看護部長）、「今回できたベースをもとに毎日レベルアップし、今までになかったネットワークを大事にしてほしい」（三角隆彦院長）とエールが送られました。

〔済生記者 荒木愛美〕



〔三重〕明和苑デイサービス
大盛況の18周年感謝祭

明和苑デイサービスは12月12～15日に開設18周年記念感謝祭を開催しました。

男性介護職員のハイクオリティダンス「ウルトラタイガー」でスタート。続いて看護師が上品な着物や白いドレス姿で、島倉千代子の「人生いろいろ」の健康替え歌やジュディ・オングの「魅せられて」に合わせて踊ると紙吹雪が舞い、利用者さんから歓声が上がりました。

最後は職員一同で昨年ブームになったキツネダンスを披露し、大盛況で幕を閉じました。

職員は例年、利用者さんを楽しませたいという気持ちで終業後も残って練習。その成果がみなさん大満足の笑顔につながっていると改めて感じました。

〔事務部主任 永富智里〕

〔神奈川〕横浜市東部病院
看護師向け研修合同修了式

横浜市東部病院は3月8日、看護師特定行為研修6期生と、小児プライマリケア認定看護師教育課程2期生の合同修了式を

静岡済生会総合病院
オンライン済生会フェア
初開催に4000アクセス

静岡済生会総合病院は2月の1カ月間、「済生会フェア'22」ずっと済生会」をオンラインで初開催しました。オンラインでも病院を身近に感じてもらえるよう、コンテンツに特にこだわりました。

コンテンツは合計5000回以上再生されました。アンケートでは、「普段は見られない施設の裏側も公開いただいて楽しかった」「オープンな病院だとわかり、安心につながりました」など温かいメッセージが届きました。

〔済生記者 酒井あい〕

栄養管理科は「調理室バックヤードツアー」で普段見られない食事作りの様子を公開。「口コミ体操」（リハビリテーション科）、「健康クイズ」（健康管理センター）など、ちよつと健康になれる動画も用意しました。反応が見えないオンライン開催は不安もありましたが、特設サイトには4000近くのアクセスがあり、



**熊本病院
Tシャツで地域とつながる
専門学生がデザイン**

熊本病院は1月24日、地元
熊本デザイン専門学校に依頼し
ていたTシャツデザインの優
秀作品授賞式を催しました。
Tシャツはアウトリーチ活
動で着用するものです。64人の
学生から110超の応募があ
り、職員投票で上位3作品を選
定。受賞者を表彰しました。



最優秀作品のデザインコンセ
プトは「つながる地域」。一筆
書きのように、まち・動植物・
病院を描き、当院の「切れ目の
ないサービス」も表しています
(下の写真)。

中尾浩一院長、アウトリーチ
推進プロジェクトの満崎克彦リ
ーダー(予防医療センター長)
から表彰状と副賞を授与し、一
同で最優秀作品のTシャツを
着てお披露目しました。
受賞した学生は「学校に
だけでは得られない経験がで
きた」「自分のデザインに自信が
持てた」と述べてました。

(済生記者 東 賢剛)

**熊本病院
プロギングで地域貢献**

熊本病院の主任格の事務職員
15人は3月12日、ジョギングを
しながらゴミ拾いをする注目の
地域貢献活動「プロギング」を
しました。

15人は地域貢献活動時に着用
する熊本病院オリジナルTシ
ヤツ(アウトリーチTシャツ)
を着用。走るペースで3グル
ープに分かれ、短いコースで3キ
ロメートル、長いコースでは7



キロメートルの道沿いを楽しく
ジョギングしながらゴミを拾
いました。
2時間程度活動した3グル
ープは計6キログラムものゴミを
集め、みな満足感や達成感で
いっぱい。参加者は「心身とも
リフレッシュできた」「コミュ
ニケーションがさらに深ま
つた」と述べました。

(済生記者 東 賢剛)

**加須病院
令和受賞の喜び分か
つ**

加須病院はこのたび、大変名
誉ある済生会令和賞を受賞しま
した。3月1日の定例会で報告
し、駆け付けた多くの職員と喜
びを分かち合いました。

受賞の理由は、昨年6月の他
市町村への新築移転(久喜市栗
橋地区から加須市へ)や、移転
後の救命救急センター運営、新
型コロナ感染者医療をはじめと
した利根保健医療圏の基幹病院
としての取り組みなどが評価さ
れました。

当院は地域医療支援病院とし
て、利根保健医療圏はもちろ
隣接する鴻巣市などの県央エリ
アを含む広域で、質の高い医療



を提供できる病院でありたいと
考えています。この受賞を励み
に、職員一同でさらに努力と挑
戦を続け、医療機能の強化や予
防医学の増進、医学知識の普及
などを通じ、健康なまちづくり
にいっそう貢献していきます。

(経営企画課 蓬田絵里子)

下関総合病院

災害机上訓練を実施

看護部主任会の災害対策チャ
レンジ活動グループを中心に2
月9日、看護部災害机上訓練を
3階講堂で開催しました。

菊川断層を起因とする震度7
の地震が発生し、災害拠点病院
として、県の災害対策本部から
市民の受け入れ要請を行なうよ
う打診があったと想定。手術
室・血液浄化セ
ンターなどを
含む外来部門
と、集中治療室
を併設するA
病棟、一般病棟
のB病棟の3
部署の対応を
訓練しました。

机上には、患
者さんの年齢・
状態・治療内容
や、看護師・看
護補助者など
の配置を記載
し、臨場感が出
るよう工夫。進
行係が、患者さ
んが続々と詰
め掛けている



とアナウンスする中で、外来は
トリアージや初期対応を、病棟
は入院患者さんの帰宅連絡や部
屋移動などの傍ら、外来からの
入院依頼に対応する——という
一連を訓練しました。
時間経過とともに増える患者
さんの対応で現場が精いっぱい
な中で、管理者は冷静に全体を
把握し、スタッフに的確に指示
する重要性を痛感しました。

(済生記者 下村桂子)

音楽家の患者さんから応援歌が届いた!!

〔三重〕明和病院

脳梗塞で昨年9月に入院し、半年余りリハビリをした退院患者さんから2月20日、自作のCDが届きました。

この患者さんは音楽家。自由になった右手を見て「ピアノを弾けるようになりたい」とつぶやいたのを聞いた作業療法士が、「両手を使うパソコンのキーボード操作を練習してみますか?」と提案。その練習中に「パソコンで、お世話になった病院スタッフに詞を書こう」と思い付いたといいます。同じ病で苦しむ人の励みにもなればと書いた詞に曲もつけ、



「明日に向かって」というタイトルがつけられています。現在はピアノも少しずつ弾けるようになり「元気にしています」と明るく答えてくれました。

このエピソードは、地元紙・夕刊三重新聞で紹介されました。
(済生記者 藤岡拓人)



新人看護師が1年振り返り

東神奈川リハビリテーション病院

2022年度新入職看護師の「1年間の振り返り」を3月8日に行ないました。
新入職看護師3人が、先輩看護師・看護部長・



看護部長の前で、それぞれが検討・研究した事例を発表しました。

3人とも緊張しながらも立派に発表し、1年間の成長を感じました。その様子を見て、先輩スタッフもホッとしていました。2年目を降さらに大きく育ててほしいです。
(済生記者 佐藤貴啓)

熊本病院 九州沖縄DMAT実動訓練 当院が主要部門担当

熊本県が1月28日に開催した九州沖縄ブロックDMAT実



び布田川断層帯地震を想定した実動訓練を実施。関係者の顔の見える関係構築や必要技術の習得、課題の把握および対応方法の検討を行ない、今後の災害医療体制の充実を目指しました。

「勤訓練」に当院DMATチームが参加しました。コロナ禍で3年ぶりの開催となり、熊本県庁や熊本県内の医療機関をはじめ、九州・沖縄の8県の災害派遣医療チーム(DMAT)の約500人(約100チーム)が集結しました。当日は日奈久断層帯地震お



この中で当院のDMATメンバー17人は、熊本県保健医療調整本部長を救急科の中山雄二朗医師が、県央区域活動拠点本部長も同・川野雄一朗医師が務めるなど、訓練の主要部門を担いました。
(済生記者 東賢剛)

熊本福祉センター・済生会かがやき 親水緑地広場でクリーン活動

障害者の就労を支援する多機能型事業所・済生会かがやきは3月4日、就労継続支援B型事業所の利用者さん17人と職員4人で、近くにある熊本港親水緑地広場のクリーン活動を行いました。

広場は手入れが行き届いていて、ゴミはほとんどないように見えました。ところが日頃から清掃業務に従事している利用者さんは次々にゴミを見つけ、たくさん拾うことができました。広場にはほかにだれもいなかったのでマスクを外して集合写真撮影。久しぶりにみんなの笑顔を見ました。かがやきでは毎月1〜2回、土曜日にこの活



動を行なっています。これからも地域に少しでも貢献できるように続けていきます。
(係長 中川路津由美)

〔山形〕特養愛日荘 褥瘡を発生させない研修

特養愛日荘は2月27日、褥瘡予防研修を3階地域交流スペースで実施しました。講師は、山形県済生会の診療



看護師で、皮膚・排泄ケア認定看護師の黒木ひろみさん。パワーポイントで図表を示しながら、褥瘡予防の基本から判断の仕方、評価方法を解説。発生のメカニズムや、何気なく行なってきた体位交換の意味などを、再確認できました。日頃から注意していても、わずかな摩擦やズレが褥瘡につながってしまうことを知り、褥瘡予防の重要性を改めて実感しました。本研修で得た知識を全員で共有し、褥瘡予防に努めていきます。
(介護職員 狩野有香)

topics



続けていきます。
(済生記者 下村桂子)

みんなで「ひな折り紙」
神奈川県病院

地域包括ケア病棟で、3月3日に折り紙イベントを実施し、患者さん約20人が参加しました。折り紙の先生はボランティアさん。おびな・めびなを折ってペンで顔を書き、最後に笏や扇を持たせたら完成です。みなさ

ん四苦八苦しながらも一生懸命に折りました。それぞれに個性豊かな表情で、とてもすてきに仕上がりました。



おいしいのはどれかな
埼玉県 川口総合病院

ドリームキッズ・なでしこ保育園は3月3日、ひなまつり会を催しました。

♪あかりをつけましょぼんぼりに
♪おはなをあげましょもものはな〜と大きな声で元気に歌う子どもたち。先生が、ひなまつりの絵本を読み、ひしもちの色(桃・白・緑)の意味に



ついて話した後は、みんなが楽しみにしていたひなあられの時間です。

キラキラした目で見つめる中、先生がひなあられを配ると、パクパクペロリとすぐ完食。「ものあじがする〜」「しろがいちばんおいしい」「もっとたべたい」とみんな笑顔でした。

(済生記者 原 衣里奈)



〔栃木〕宇都宮病院
緩和ケア病棟でひな祭り

な祭り会を開きました。

会場のデイルームにひな人形や春らしい飾り付けをし、音楽療法士の金子悦子さんに、春の曲を電子ピアノで演奏してもらいました。当院緩和ケア科の粕田晴之医師のハーモニカ演奏や、三人官女に扮した看護師らのダンスも披露。

患者さんもスタッフと一緒に歌ったり、手持ちの太鼓をたたいてリズムをとったりして会場は大いに盛り上がりました。プログラムが終わった後も、アンコールや曲のリクエストが続き、笑顔であふれました。

(済生記者 川原彩花)

**〈大阪〉野江特養城東園
目も舌も春を味わう**

城東園は2月初旬から玄関ホール・フロア食堂にひな人形を飾り、春を演出しています。コロナ禍でご家族の面会を制限するなど外部との接点の少ない館内で、目で季節を楽しんでいたどころと企画。この写真を撮るときに、入居者さんは「きれいやねー、私のほうが美人やけどー」と笑顔で言いました。

3月3日の桃の節句には行事

食でちらし寿司を、おやつでもケーキを提供し、舌でも春を感じていただきました。次は桜の開花を待つ、恒例のお花見にみなさんと出かけようと計画しています。

(相談員 中西茂人)

**〈山口〉下関総合病院
ロビーに季節の彩りを**

当院の施設管理課と看護部むつみ会(親睦会)は3月1日、1階正面玄関ロビーに七段飾りのひな人形を飾りました。

飾りつけは一年ぶりなので、ひな壇の設営法や人形の並べ方などに戸惑い、みんなで一つずつ声をかけ合い作業しました。久しぶりに箱から出してもらったひな人形は気持ちよさそうな表情。私たちの作業を患者さんも笑顔で見守り、ロビーは和やかな空気に包まれました。

季節の飾りつけがあると玄関ロビーが華やかになり、患者さ



熊本病院

いま医療に必要なDXとは

熊本病院は2月18日に当院コ
ンベンションホールで、日本医
療・病院管理学会第412回
例会「医療情報が生み出す価値
〜いま医療に必要なDX〜」
を開催し、県内外の72人が参加
しました。



副島秀久支部長が座長を務
め、基調講演に中島直樹氏（九
州大病院副院長兼メ
ディカル・インフォ
メーションセンター
教授）、IT企業講演
に二川康秀氏（NEC
医療ソリューション事
業部門ディレクター）
と成行書史氏（富士フ
イルムメディカルシス
テム事業部統括マネー
ジャー）を招聘。各氏
から医療DXにおけ
る厚生労働省の動向や
クラウドサービスによ
る地域医療連携、AI
画像診断技術、医療者
の働き方やデジタル化
の展望などが語られました。
当院の坂本知浩副院長（兼医
療情報部長）も「済生会熊本病

院で進化を続けるDX」の講
演で導入事例を説明。さらに中
尾浩一院長がファシリテーター
を務めたパネルディスカッショ
ンでは、演者・参加者で活発な
議論が行なわれました。

（済生記者 東 賢剛）

（埼玉）川口総合病院

退職者へ感謝伝える

川口総合病院は3月3日、
2022年度で退職する職員
の感謝の会を行ないました。該
当者は5人（リハビリテーショ
ン科・船崎俊一郎長、脳神経外
科・須田喜久夫部長、事務職員・
小原正弘さん、外来看護師長・
横田富美子さん、6B看護師
長・田中美奈子さん）です。

列席者は功労に感謝し、楽し
かったことやきつかったことな
ど、川口総合病院での長い年月
をみんなで振り返りました。
「車で通勤中に、あと何回この
景色が見られるのかと思うと、
涙が出てくる」と田中さん。「人
生の3分の2をここで過ごしま
した。この病院が大好きです」
と横田さん。

参加した職員も胸が熱くなり、
寂しい思いでいっぱい。退職す



るみなさんありがとうございます
ました。先輩方の教えを胸にこれ

からも業務に励んでいきます。
（済生記者 原 衣里奈）

（愛媛）松山乳児保育園
保育雑誌に載りました！

松山乳児保育園の給食の取り
組みが、保育雑誌「PriPi」4
月号に掲載されました。
掲載ページは、全国の保育園



のご当地給食・おやつを紹介す
るコーナー。当園がホームページ
に載せていた「三津のお魚を
使った給食」が担当編集者の目
に留まり「ぜひ紹介したい」と



連絡があり実現しました。

三津浜港に近い当園は、水揚
げされたばかりの新鮮な近海魚
を市場で仕入れ、週に何度か給
食で出しています。その際、普
段見る機会の少ない尾頭付きの
大きなタイや、生きたまま届く
エビなどを調理前に子どもたち
に見せ、食材本来の姿や命の大
切さを伝えていきます。

これからも給食を通して子ど
もたちに地域性や食文化、健全
な食生活を伝え「生きる力」を
育んでいきます。
（済生記者 河野敦子）

J-CIMELS
ベーシックコースを開催

（大阪）富田林病院

当院は3
月11日に
「J-CIMELS
ベーシック
コース」を初
開催し、医師・
助産師・看護
師など17人
が参加しま
した。

これは日本母体救命システム
普及協議会（J-CIMELS）が
主催する講習会。母体の救命救
急に特化した救急蘇生コースで
急変への気づき、母体急変への
対応について座学・実習・シミ



ュレーションで習得します。
参加者は、妊産婦の蘇生と一
般的な蘇生の基準の違いを確認
しながら、ケース別の対応を学
びました。今後も定期的に講習
会を開催していきます。
（総務課 小谷知広）

（大阪）中津病院
専門・認定看護師の
魅力発信

（大阪）中津病院

当院の専門・認定看護師会は
3月10日「NAKATSU Nurse
Specialist FES 2023」を講
堂で開催し160人が参加しま
した。
イベントはチームごとに企



多職種が参加し、思い思い
に興味のある体験を楽しまし
ました。このイベントを通じ、専門
認定看護師に興味を持った」の
声も届いており、新しい仲間が
増えることを期待しています。
（済生記者 鈴木亜希乃）

〔福岡〕大牟田病院

栄養科が福岡県知事表彰
大牟田病院栄養科は2月7日、栄養関係功労者特定施設として福岡県から表彰されました。1933年の開設以来、長年にわたり安全・安心でおいしい食事を提供してきた実績が評価されました。
一日も欠かすことなく食事提



供に尽力してきたことが認められ、現場職員は自信と感謝の気持ちでいっぱいです。慢性的な人員不足もさまざまに工夫し、他部署の協力もいただきながら栄養科は頑張っています。

東神奈川リハビリテーション病院

ドライブシミュレーター

東神奈川リハビリテーション病院は2月にドライブシミュレーターを購入しました。同月中旬から、主に脳卒中の患者さんなどの自動車運転再開診断用適用作業で使っています。
認知反応検査・タイミング検



新型コロナウイルスの感染拡大が続く、栄養科にはより一層の衛生管理・健康管理が求められており、これからの期待に応える取り組みが続けていきます。
(栄養科長 上嶋稔子)

査・走行検査・注意配分検査の4項目の検査を行ない、運転再開の可否を判断します。これを活用し、脳卒中患者さんなどの運転再開支援に努めます。
(済生記者 佐藤貴啓)

〔山口〕下関総合病院

山口東京理科大学の就職セミナーに参加

下関総合病院は2月17日、山陽小野田市立山口東京理科大学で行なわれた薬学部学内業界セミナー（就職説明会）に参加しました。薬学部は2018年開設で、今回初めて4・5年生約200人対象の説明会が開催されました。
この日は製薬企業・飲料メーカー・医薬品卸やチェーン薬局グループに県内外の保険薬局が参加。病院は、県内だけでも当院含む20病院が出席していました。



当院からは済生会や当院の理念や方針などを説明。山口県には済生会病院が4施設あるため学生の認知度は高いものの、法人の成り立ちや創立の精神などについてはあまり知られていないとわかりました。今後も機会を捉え、薬学生などに済生会の活動もアピールしていきます。
(済生記者 中村英治)

〔奈良〕中和病院

対面学会に300人集まる

中和病院は2月4日、日本医療マネジメント学会第17回奈良支部学術集会を主催しました。

特別講演

「奈良県の地域医療構想に

講師 奈良県福祉医療部 医療政策局長 平夏典

日本医療マネジメント学会 第17回奈良支部学術集会

「変革の時代への新たな挑戦」

—地域の医療と介護を支える現場から—

シンポジウム 「奈良県型地域医療構想 2025を支える」

「今、地域が求める連携と機能分



テーマは「変革の時代への新たな挑戦 —地域の医療と介護を支える現場から—」です。
当日は天候に恵まれ、会場の奈良県社会福祉総合センターには300人を超える参加者が集結。オンライン学会が増えている昨今、対面形式の学会にこれだけの医療従事者が集まったことに驚きながら、久しぶりのその雰囲気を楽しみました。

奈良県福祉医療部医療政策局長の平夏来局長の特別講演「奈良県の地域医療構想について」や、「奈良県型地域医療構想2025を支える」のシンポジウムには多数の参加を得、関心の高さを感しました。
(理学療法士 芹川菜緒美)

〔宮崎〕日向病院

地域医療へのコロナの影響 「今後は在宅医療が重要」

「地域医療講演会」（主催：日向市・日向市の地域医療を考える会）が2月18日に日向市文化交流センターで開催され、50人余りが来場しました。
テーマは「日向市の地域医療はコロナ禍でどう変わったか、そして、これからどう変わるか」。当院の林克裕院長ほか4人のパネリストが、コロナ禍以降の日向市の地域医療についてディスカッションしました。



でも感染力は変わらない、医療機関は従来と同じ対応が必要——と訴えました。
最後に、近々公的な援助がなくなり病床確保も困難になりゆく中、「日向市の現状を踏まえると、自宅が病室」となる在宅医療が重要」と言及。会場の市民は高い関心を示していました。
(済生記者 村尾 愛)

topics

システムで非常時に利用できるのは、一部のコンセントに限られるという課題解決のためです。くれたけ荘は北九州市福祉避難所に登録されており、災害時には介助が必要な人を受け入れます。加えて周辺は傾斜地が多く、公設避難所に至る前の一時避難先ともなるため、災害時の事業継続体制整備が急務でした。今回の工事で、万一の場合に



〔福岡〕老健くれたけ荘 災害に強い施設へ 自家発電装置などを整備

非常用自家発電装置の設置工事が2月24日に完了しました。従来のコージェネ（熱電併給）

はまな荘では、よりよい施設・職場環境作りに貢献している職員を職員間投票で選び表彰する「はまな賞」を創設しました。例えば、余暇を利用して利用者さんの喜ぶ作品を作っている、常に笑顔で迅速・丁寧に対応している、誰に対しても明るくあいさつできる——こんな職員が対象です。令和4年度は栄えある第一回の表彰者として、各部署の最高得票者4人を選出。2月に表彰状とともに、幹部職員から集めた資金で副賞のホテルペアランチ券を贈呈しました。職員のモチベーション向上を

〔広島〕老健はまな荘 頑張る職員に「はまな賞」 副賞はペアランチ券

もエアコンや水洗トイレ、一部の照明機器が利用可能になりました。併せて、炊き出しに使える調理用具「デリバリーステーション」も導入。災害の起こりにくい土地ではありませんが、いざというときにはこれらの設備を活用し、福祉避難所として地域に貢献していきます。

（済生記者 杉田佳史）

ラーメンの屋台が登場！

（新潟）特養長和園

長和園は3月15日のおやつでイ Bentto食を実施し、ミニラーメンを提供しました。以前

管理栄養士を中心に計画を進め、給食委託先の富士産業と当施設の職員で話し合い準備。雰囲気盛り上げるため職員が屋台をつくってお出迎え。希望者12人が順番に訪れ、できたてのラーメンをすりました。屋台まで来られない人には出前し、限定20食は完売です。「おいしいねえ」「熱々だ」と、みなさん笑顔。せっかくなつく



つた屋台は、カフェやスイーツなどのイベントで幅広く活用していきます。

（済生記者 西川まゆみ）

高校生3人の職場体験

長崎病院

長崎病院は3月3日、精道三川台高等学校の生徒3人を職場体験で受け入れました。全員が医師・看護師志望のため、看護部を中心にリハビリテーション室・薬剤部・臨床工学室・放射線室・臨床研修教育センターを見学してもらいました。看護部では感染制御部の林田久美師長の指導の下で、汚れを



付けた手をせっけんで洗浄し、ブラックライトで洗い残しを確認する体験をしました。生徒は「自分の手洗いで上手に汚れを取り切れるのか不安でした」「医療施設では清潔をいかに重視しているのか、よくわかりました」

と述べました。これを機に少しでも医療の現場を身近に感じ、将来の進路選択に役立ててもらえたらうれいです。

（済生記者 平川幸子）

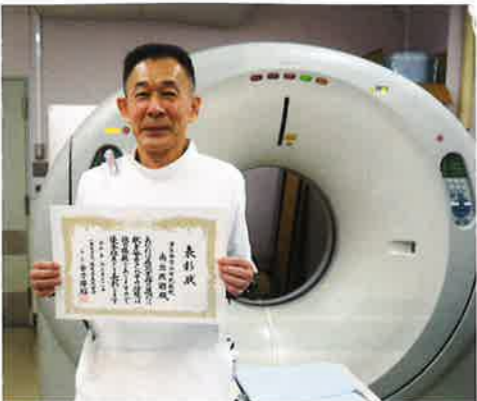


目指した「はまな賞」。次年度は、あいさつやレクリエーションなどの評価項目に絞って投票を行う予定です。

（済生記者 佐藤 聡）

〔滋賀〕守山市民病院 南出師長が優秀職員表彰 県病院協会会長から

当院の放射線技術科・南出政嗣師長が2月21日、滋賀県病院協会優秀職員会長表彰を受けました。南出師長は1993年に入職。地域全体で迅速に診断できる体制整備を目指し、院内多職



種との連携はもちろん、開業医との連携にも積極的に取り組んできました。具体的には、地域医療連携室スタッフと一緒に開業医を訪問し、顔の見える関係を構築。それによって、開業医からの検査紹介が増加、CT検査・MR検査の稼働アップにつながりま

した。14年に放射線技術科師長となつてからは、後進の育成にも尽力しています。普段から穏やかで、患者さん対応では笑顔絶やさない南出師長。「今回の表彰は、良き仲間にも恵まれてのことです。今後守山市民病院の発展に貢献していきます」とこやかに話しました。（済生記者 中嶋元香）

〔三重〕 明和病院
3年ぶりの献血バス

明和病院は2月21日、三重県赤十字血液センターの要請に応じて献血バスを受け入れ、約3年ぶりの献血を実施しました。明和グループの18人が協力しました。

初参加の職員は「献血センタ



ーがどのような施設か分からず、怖いイメージがあり行く勇気がなかった。これからは定期的に貢献したい」と述べました。

コロナ禍で献血者が減少しており、医療機関への安定供給が難しくなっているというニーズを目にしています。当明和グループでは少しでも協力できるよう、今後も定期的に献血を実施していきたいです。

(済生記者 藤岡拓人)

〔奈良〕 老健シルバーケア

まほろば まちの清掃で地域貢献

地域貢献活動として3月1日、施設から安倍史跡公園までの約1キロメートルの往來の清掃作

まほろば

業を行ないました。これまで地域貢献活動では、地域住民や利用者さんのご家族を対象にした介護教室を開いてきました。それがコロナ禍で開催できなくなり、施設周辺の清掃活動に切り替えています。

天候に恵まれ、参加したスタッフは「いい運動になった」「通りかかった人から『ご苦労さん！』と励ましの声をもらった」とすがすがしい表情です。

この日拾ったゴミで一番多かったのはマスクで、コロナ禍の社会変化の一端を垣間見ました。

(済生記者 林 嘉夏)



〔福岡〕 二日市病院
ビーガン食はいかが？

二日市病院は2月8日、今年度2回目のビーガン食を提供しました。ビーガン食は、肉・魚・卵・乳製品を含む動物性タンパク質を一切使用しない完全植物性の食事です。

当院栄養部が学生の実習を受



け入れている福岡女子短期大学の福岡伸子教授が、壁村哲平院長との面談でこう述べたのがきっかけです。「ダイバーシティの時代、食生活にこだわりがあ



る人へ可能な限り対応する取り組みとしてビーガン食はどうでしょうか」すぐに栄養部と同大でコラボし献立を検討。食材選び、栄養バランス、費用などいくつものハードルを乗り越えて、行事食

〔滋賀〕 守山市民病院
松永副院長が優秀賞
とろみ表現の統一を目指す

当院の看護部教育委員会は2月24日、看護研究発表会を院内で開催しました。審査員4人を



発表されました。

今回の優秀賞は、在宅療養支援室・松永哲人副院長の「とろみ表現の粘度イメージについての看護師間の差異」とろみ表現の地域間統一にむけて」。

撰食・嚥下障害看護認定看護師の松永副院長は、他病院・他施設からの転院患者が多い中で、転院元から情報提供される「とろみの表現」が統一されておら

〔広島〕 老健はまな荘

広島サミットの応援企業に

はまな荘は、5月19～21日に広島で開かれるG7広島サミットを盛り上げ、施設の広報活動強化にもつなげる狙いで、サミットの応援

企業に登録しました。具体的には施設内へのポスター掲示、雑誌架などへのチラシの設置、ホームページ用バナー作成などで応援します。

サミット期



間中は、各国の首脳や政府関係者など多くの要人が来訪します。はまな荘の周辺道路も交通規制の対象になるので、通所サービスの送迎業務に影響するのではと今から心配しています。

(済生記者 佐藤 聡)

審査員の吉村薫看護部長は、「さらなるレベルアップのために、学会や講演など病院外での発表経験も積んで知見を広めていってほしい」と総括しました。

(済生記者 中嶋元香)

福岡総合病院
さらなる医療の質向上を
QI大会初開催

福岡総合病院は2月28日にQI大会を初開催し、60人が参加しました。
QIとは医療の質の指標で、当院は済生会の医療の質の評価・公表推進事業や、日本病院会QIプロジェクトに参加。加えて院内各科・各部門も40項目の独自QIを設定し、日々



改善活動を行なっています。
初のQI大会は、職種の垣根を越えて各所の取り組みを病院全体で共有し、さらなる医療の質向上に役立てることを目的に開催。10部門の発表者が他施設とのベンチマークや根拠データを示しながら、自分たちの活動成果や課題を発表しました。
参加者が「改善に取り組み姿勢が素晴らしい」「各部署の取り組みと成果が見えて誇らしく感じた」と感銘する、非常に意義深い大会となりました。今後も病院一丸で医療の質向上に取り組んでいきます。
(経営企画課 新田 怜)

つつのみやなでしこ保育園
明るく広々快適！
新棟・南園舎が竣工

つつのみやなでしこ保育園の新棟・南園舎がこのたび無事竣工しました。
2015年4月に市の認可保育園としてスタートした当園は、18年に運営を業務委託から直営に変更。21年度には幼児クラスを充実させて増改築工事を開始し完成に至りました。
工事に際して保護者・保育士



の要望を集約・反映し、使い勝手のよい施設を目指しました。たとえば、ホールの舞台は必要に応じて引き出して使う壁面収納式。さらに、廊下側に柱を立て

ず扉を全開にできるようにもしていて、生活発表会など大勢が集う際にはホールと廊下を一体化し広く使えます。
ほかにも保育室に広いテラスを設け、天気の良い日はテーブルをそこに出して食事できるようにもしました。

(保育施設事務 福田 郁)

山口 豊浦病院
2年目へ羽ばたけ！
9人が新人研修修了

豊浦病院は3月2日、昨年度の新人看護職員9人のプリセプテーション研修を大会議室で実施しました。1年間で習得した知識・技術・態度を振り返って自身の強み・弱みを知り、次年度の課題を見つけるのが目的です。

病院理念の穴埋めクイズに始まり、スライド発表、グループワークと盛りだくさんの内容で進行。病棟部長から1年目修了証書を授与された9人は、1年間着けてきた新人バッジを返却したね」と声をかけられ涙ぐむ人もいました。

その後、病棟の先輩看護師のお祝いビデオメッセージを流し、



最後に看護部長の講評を受けました。笑いあり涙あり、あつという間の2時間でした。
(済生記者 西田千鶴)



広島 老健はまな荘
2年ぶりの実習生
私たちが刺激を受けました

新型コロナウイルス第8波が落ち着いた。約2年ぶりに介護福祉士や看護師を目指す大学生・専門学校生5人の実習を受け入れました。実習前には必ず検温など健康チェックをし、週1回はPCR検査と抗原検査を受けてもらう。厳重な感染対策を講じました。

実習生との触れ合いの中で、利用者さんは普段とは違う表情・言葉・反応を見せてくれました。職員も多いに刺激を受け

介護技術を伝える大切さや初心を思い出し、介護の楽しさを改めて感じました。

実習生は最終日に、担当した利用者さんに感謝を伝えました。別れを惜しんで泣きながら話す実習生を見ていたら、自分の学生時代を思い出すとともに、みんなきつと素晴らしい介護職員になってくれると確信しました。

(ケアワーカー 岡村朋子)



〈山形〉はやぶさ保育園
消防車かっこいい！

はやぶさ保育園は2月27日、総合避難訓練を消防署員立会いの下で実施しました。



と、3〜5歳児はすぐに保育者のもとへ集合。煙を吸い込まないように口に手を当て、防災頭巾をしっかりと手当て、防災頭巾を向かいました。0〜2歳児クラスでは個々の発達を考慮し、職員が災害に応じた避難の仕方

を日頃から検討していて、臨機応変な対応で安全に避難。

この日は山形市消防本部から大好きな消防車も来園し、間近で見える消防車・消防士さんに子どもたちは興味津々。迫力満点の放水には「かっこいい！」と目を輝かせていました。

当園では、職員と子どもが緊張感を持てるように、予告なしに、火災・地震・不審者対応などの訓練も実施。その積み重ねで、子どもたちに防災意識が少しずつ根づいてきています。

（済生記者 黒田真美）

〈大阪〉千里病院
初期臨床研修医の
クリニカルスキルテスト

毎年恒例の初期臨床研修医クリニカルスキルテストを2月25日に講堂で開催しました。

初期臨床研修医（1年次）の、救急外来診療や侵襲的演技に必要な知識・技能を客観的に評価しフィードバックするのが目的。神経診察・気管挿管・腰椎穿刺・中心静脈ルート確保・画像診断・心電図判読・縫合手技・筆記試験を行ないます。

「採点が目的ではなく、4月か



ら救急外来で主直を担当するにあたっての自己研さんの動機づけが狙いです」と、寺田浩明・初期臨床研修センター長。

終了後、「1年の総復習としてすごく勉強になりました」自

分の足りないところがよくわかった」「筆記試験の時間が足りなかった。難しかったけど、楽しかった」などの感想が寄せられました。

（済生記者 秋山みゆき）

福岡総合病院
医療政策・医事研究部会
福岡で全体会議開催

当院が事務局を担当する事務

が選ばれ、この日作者を表彰しました。この標語を各職場に掲示し、接遇向上に努めます。

（総務課 前田大輔）

〈埼玉〉鴻巣病院
すべり台で避難訓練

鴻巣病院は2月14日、避難用すべり台を使った防火・防災訓練を行ないました。

避難用すべり台は2001年に竣工した本館の外壁に備え付けてあります。築22年経過する中で点検はしてきたものの、避難訓練では十数年使ったことなかったため今回実施しました。

（総務課 影山智英）



〈神奈川〉特養わかかさ
「いいねー」の職員・部署と
接遇標語作者を表彰

わかさは3月16日、職員間投票で「いいねー」と選ばれた職員・部署と、接遇標語の最優秀賞の表彰式を行ないました。

部長会の医療政策・医事研究部会の全体会議を3月17日にアクロス福岡で開催しました。2022年度は、昨年5月から八つのワーキングチーム（WT）に分かれて活動を開始。コロナの感染状況でWeb会議を取り入れながら、テーマに応じた研究に取り組みました。例えばWT-3は「参加病院同士による模擬適時調査の実施」をテーマに、静岡済生会総合病院と長崎病院の部会メンバーで本番さながらの調査を実施。WT-8の「AI問診の導入事例と取り組み」では、先駆的に運用する福井県済生会病院と京都済生会病院を訪問し、見学・ヒアリング調査を行いました。この活動成果は来年の第76回済生会学会で報告予定です。

（医療政策・医事研究部会 事務局 中島克洋）

（神奈川）特養わかかさ

当施設にはステキ！すごい！ありがとう！と感じた職員や部署にメッセージを届ける「いいねーカード」の制度があります。互いに褒め合う文化が施設に根付くことを期待して行なっている取り組みです。今年2月に職員間投票を実施し、昨年を上回るカードを得た職員3人と1部署を、「褒められたで賞」として表彰しました。



〈愛媛〉今治病院
島しょ部の患者の足
当院発着の定期バス開業

しまなみ海道の島々を結ぶ当院発着の定期バスが1月26日から運行を開始しました。これまで島しょ部と当院を行き来する定期バスはなく、自家用車での通院も橋の利用料が高額で負担が大きく、高齢化が進む島の患者さんは通院が困難な



しまなみ海道を結ぶ橋

状況でした。その解決を目指して当院は今治市・地元バス会社と協議を進め、この定期バスの運行が実現しました。



運行開始時に今治市の広報誌でも告知いただいたことで、定期的に利用する患者さんも増えていて、口々に「便利になった」「次の診察もバスで来ます」と好評です。今後は島から来る患者さんの診療時間の調整なども行ない、より利用しやすい病院づくりを進めます。

(庶務課 井手紀之)

東神奈川リハビリテーション病院

水消火器の使用講座

東神奈川リハビリテーション病院は3月10日、院内防災訓練の一環で水消火器使用講座を実



施しました。地元の消防団に所属し、火事現場で消火活動経験もある医事課の筆者が講師を担当。講座後、「地元の消防団経験を勤務先で生かすことができ、とてもよかった。病院のためにこれからも貢献していきたい」という思いを強くしました。

(済生記者 佐藤貴啓)

〈福岡〉二日市病院
医療DXはなぜ必要か
群馬大・鳥飼准教授の講演

二日市病院は3月10日、「病院組織における医療DXはな



ぜ必要か」というテーマで研修会を催しました。

講師は、群馬大学医学部附属病院の鳥飼幸太准教授（システム統合センター副センター長）。同大学の医療DX事例を紹介いただき、「取り組みに際してはまず、現場でより多くの時間を作るために何ができるかを、多職種でよく話しあってほしい」という話が印象的でした。



〈新潟〉特養長和園
盲導犬がやってきた

コロナ禍で外出自粛が続く入居者さんを励ましたいと、3月7日に盲導犬が慰問に来ました。長和園の入居者さんが動物と触れ合うのは初めてです。

盲導犬は訓練できちんとしつけられていて、吠えたり噛みついたりはしません。入居者さんは背中を優しくなでたり顔を近づけたりして「かわいいね」「いいこだね」とご機嫌。



滋賀県病院
DMAT隊員5人が参加
広域緊急援助隊合同訓練

滋賀県警察本部機動警察隊・航空隊基地で2月9日に開催された令和4年度近畿管区広域緊急援助隊合同訓練に、当院のDMAT隊員5人が参加しま

みなさん自然に笑顔になり、施設全体が温かい雰囲気になりました。お別れする際は、「またきてね」「また会おうね」と名残惜しそうでした。職員も大いに癒やされたひとときでした。

(済生記者 西川まゆみ)

した。広域緊急援助隊は全国の警察本部に設置されていて、災害時には被災者の救助や緊急交通路の確保等を行なうものです。この訓練は毎年近畿府県が持ち回りで実施し、今年は滋賀県が会場となりました。参加機関は警察のほか消防、自衛隊、DMATが参加しています。今回、当院DMATは合同調整所（集まった機関でつくる指揮本部）と救護所に入り活動しました。中でも、普段連携を取ることが少ない警察機関との訓練が大変有意義でした。

(救急災害業務室 今安弘樹)

神奈川県病院

人間ドック健診施設の機能評価3回目の更新

神奈川県病院の予防医療センターは2月、人間ドック健診施設機能評価 Ver.4.0の認定を更新しました。

2012年に初回審査を受け、今回が3回目の更新。今回はコロナ禍での受審のため、医



師サーベイヤー部門がリモートによる調査となりました。初めてのことで戸惑う場面もありましたが、無事に審査は終了。受

診者が安心して質の高い人間ドックを受診できる環境と、受診後のフォローアップまで一貫した体制が整備されている施設であることが改めて証明されました。

更新認定の通知を受け、スタッフ一同は安堵。早くも次回更新に向けたさらなる改善、質の向上に取り組み始めました。
(予防医療センター 井上亜由美)

令和4年度永年勤続表彰

西条病院は2月15日、令和4年度永年勤続者の表彰式を行いました。今回は30年4人、20年3人、10年7人の14人を表彰。例年は全職員が講堂に集まり、盛大に祝いますが、感染予防対策で幹部職員のみが参加し挙行了しました。

式典では、岡田真一院長から長年の勤務に対する労いと感謝の祝辞、今後の活躍を期待する言葉が述べられ、表彰状と記念品を授与しました。

表彰者はお礼の言葉と、今後地域医療を担う決意を述べ、次年度に向けて気の引き締まる



表彰式となりました。

(総務課 大仲均)

〈兵庫〉特養ふじの里
バレンタインデーに届いた
さをり織りのプレゼント

隣接する神戸市立有野中学校特別支援学級の生徒3人と担任の滑翔太先生、支援員の井上るみ子先生がバレンタインデーの



2月14日に来所し、さをり織りを寄贈してくれました。合同作業学習で生徒が制作したもので、バッグ・ポーチ・ポケットティッシュケース・コースターなど約70点。早速、ふじの里の利用者さんにプレゼントすると「すごいなあ、一つひとつ織ってるなんて気が遠くなる

わあ」「きれいやなあ、上手に作ってやなあ」と驚喜んでくれました。

サ高住・ウエストサイド藤原台の利用者さんにも持つていくと、お礼がしたいとのこと。職員が折り紙のチューリップを組み合わせてメッセージカードを

作成し、一つひとつに感謝の言葉を書いて贈りました。
(事務リーダー 猪瀬麻美)



〈福岡〉二日市病院

地区初の手術ロボット
低侵襲の診断・治療が可能

当院は昨年12月に低侵襲手術支援ロボット、ダヴィンチを当地区で初導入しました。これによって患者さんの住み慣れた地域で、低侵襲の診断・治療を完結できる体制が整いました。

導入後は担当医師・スタッフの運用訓練を進め、2月21日に第1症例、3月7日に第2症例を行いました(いずれも腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術)。2023年度は消化器外科の



みで施行し、ロボット手術の運営ノウハウを習得・蓄積して翌年度以降は他科にも拡大していく計画です。

当院は、最先端医療を学び、実施できる施設として、関連大学に「積極的に医師を派遣したい」と思われる施設になりたいと考えています。ダヴィンチの導入を一つの契機にし、地域中核病院としてさらに高度専門医療を推進していきます。
(経営戦略課 久富大史)

〈栃木〉宇都宮病院

地域の医療・介護関係者で
ケアのあり方考える

宇都宮病院は3月18日、宇都宮市から受託する医療・介護連携支援ステーション運営業務の一環で、ネットワーク研修をオンライン開催しました。地域の医療・介護関係者や行政職員など31人が参加しました。

研修は2部構成で、第1部は在宅医療を懸命に行なう若き医師と仲間を描いた映画「ピア〜まちをつなぐもの〜」の鑑賞会。ピアは英語で「仲間」。この映画では医療・介護関係



者や患者さん・家族も含むすべての人を指しています。

第2部は「あなたの仕事の素晴らしさを教えてください」ピアを観て、それぞれのケアについて考えよう」と題した意見交換会を実施しました。

「看取り後の家族ケアの中で、患者さん一人ひとりの生き方や人生観を大切にしよう」と思える」などの意見が出て、患者さん・家族がその人らしく、笑顔で生きていけるようにサポートする大切さを共有しました。
(地域連携課 秋山綾香)

〈群馬〉前橋病院
低侵襲ロボット手術開始
胃・大腸など消化器領域で

前橋病院は昨年12月に手術支援ロボット、ダヴィンチを導入し、2月21日に大腸疾患で初症例を行いました。先進的な治療も取り入れて選択肢を多様化し、外科医師確保にもつなげた



〈群馬〉前橋病院

いと考えました。この最新技術の手術支援ロボットで、今後は個々の患者さんにより適した治療法をより多くの選択肢の中から提案できるようになりました。ダヴィンチは当院が得意とする胃・大腸をはじめとした消化器領域で用い、患者さんの体に負担の少ない低侵襲手術を実施していきます。

(済生記者 川上佳代)

東神奈川リハビリテーション病院
摂食・嚥下外来を紹介
地域のケアマネ・医師らに

当院の鈴木俊幸医師と寺見雅子摂食嚥下障害看護認定看護師が2月17日、沢渡三ツ沢地域ケアプラザで、誤嚥性肺炎の予防と摂食・嚥下外来の活用に関する講義を行いました。

横浜市の2023年度の医療・介護連携のテーマが「摂食」で、当院の摂食嚥下外来の取り組みと合致するため実施。地域のケアマネジャー・医師と同プラザ職員約30人が参加しました。講義では誤嚥性肺炎発症のメカニズムや、解剖生理と嚥下の



しくみなどをレクチャー。その流れで、医師・摂食嚥下認定看護師・栄養士のチームによる摂食・嚥下外来を紹介しました。参加者からは「紹介したい患者さんがいても、紹介状を書いてもらいにくい状況がある」「気軽に相談できる窓口があると安心だ」などの声を聞きました。

(済生記者 佐藤貴啓)

福井県済生会病院
あかはせつたいにとまれ

院内保育所ぽっかぽか園に2月15日、福井警察署交通課の交通指導員が訪れ、1・2歳児にも分かるように交通ルールを教



えてくれました。朝の会で普段から、交通ルールを楽しく学ぶ絵本「しんごうきびこり」の読み聞かせを聞いている園児たち。だから「あかはせつたいにとまれ」。「あおになつたらすすめ」と大きな声で答えることができました。そんな子どもたちも、指導員

が「命は一つしかないから大切にしよう」と話す静かに聞いて、横断歩道を渡る練習ではしっかりと手を上げ、右・左・右とよく確認し渡りました。シートベルトの大切さの説明で、シートベルトなしのアンパ

ンマンのぬいぐるみが車から落ちると「あぶない！」と一斉に大きな声が出ました。最後はみんなで交通ルールを守ると約束しました。

(保育士 川上ひとみ)

新潟病院

サルコペニア予防を考える

新潟病院は2月10日、10階会議室でNST講演会を開催し、約20人が参加しました。

講師は新潟医療福祉大学健康栄養学科長の永井徹教授で、「栄養と口腔の視点から地域高齢者のサルコペニア予防を考える」と題し講演いただきました。

永井教授からは「何より大切なのは、適切なアセスメントを踏まえて介入すること。そして摂食・嚥下障害の取り組みでは舌圧と握力が相関するため、嚥下筋トレーニングをすること。



すると舌圧が改善され、誤嚥性肺炎を予防できる」と指摘いただきました。多くを学びました。サルコペニアで全身の筋肉量が低下した高齢者は、口腔内の筋肉量も減少してしまいます。そのため十分な食事摂取ができず、さらなる栄養不良を引き起

こす可能性もあるため、該当者には積極的・継続的な介入が必要だと感じました。

(薬剤部科長 鈴木光幸)

〈三重〉明和苑デイサービス
コロナもあっち行け〜！

デイサービスで2月1日〜3日に節分会を開催しました。

赤鬼・青鬼に扮した職員が大きな金棒を振りかざして練り歩き、利用者さんは豆の代わりに広告を丸めた紙ボールを「鬼は〜外〜、あっち行け〜」と、大きな声で投げつけます。次から次へと飛んでくるボールに鬼たちははたじタジ。中には「コロナもあっち行け〜！」と叫ぶ利用者さ



んもいました。普段はマスクを付け小声で話す利用者さんも、ここぞとばかりに大笑い。コロナ禍で制約を強いられる状況が3年も続き、時々の季節を感じ声を出して笑うことは大切だと改めて思いました。

(看護師 大門智子)

大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも、ご報告ください

平和をつないでいきたい

息子が福岡県嘉麻市の「わたしのエッセイ」の小学生の部で優秀賞をとり、1月22日の表彰式に出席しま

した。小中学生の活字離れ抑止と表現力向上を目的に、嘉麻市と教育委員会が毎年実施しているものです。今回は「沖縄復帰50年〜歴史文化、

そして今、平和について考えよう〜」と少々難しいテーマ。毎年応募する息子も筆が進まず、私は助け舟を出しました。「沖縄へ行こう〜」とはさすがに言えず、車で30分ほどの筑前町立大刀洗平和記念館へ。かつて東洋一の規

模を誇った大刀洗飛行場だった場所で、戦争の惨禍を伝える資料が多数展示されています。九州国立博物館の沖縄復帰50年記念特別展「琉球」へも行き、沖縄の歴史や文化にも触れました。親子で平和をつないでいく大切に

を痛感し、息子は「平和をつなぐ」というエッセイを書き上げました。

(福岡・飯塚嘉穂病院 済生記者)

★春口パパの助け舟ですてきなエッセイができたんですね。息子くん、優秀賞おめでとう！

(メデイカル・リーフ 平山果奈)



名誉会員の表彰を受けて

このたびは令和4年度済生会総会で、名誉ある名誉会員の表彰を賜り心から感謝申し上げます。職場のみならずのご協力のおかげと感謝しています。

済生会に入職し40年、明和苑の施設長としては11年勤務し、医療・福祉・地域のたくさんの人たちと思い出深い出会いを重ねてきました。松阪総合病院に勤務した後、国立療養所明星病院の移譲を受けた明和病院療養型病棟や、三重県厚生事業団の特養明星園から経営譲渡された明和苑の立ち上げに携わり、2年後には済生



会初の全室個室ユニットケア中心の新施設に生まれ変わり、100人の入居者さんの引越しという貴重な経験もしました。

これからも済生会職員としての誇りを持ち、微力ながら各方面に貢献できるよう努力してまいります。

(三重・介護老人福祉施設明和苑 施設長 辻井夕美子)

★子どもたちとボランティアがカラオケを楽しんでいた「済生会明和健康フェスタ」。またできるといいますね。(本部広報室 河内淳史)

森さんお手柄です

横浜市東部病院経理室主事の森清乃さんが2月27日、東京・高輪消防署の宮川克広署長から感謝状を受けました。森さんは2月3日、京浜急行品川駅に停車中の電車内で倒れ心肺停止状態になった男性に対し、その場に居合わせた乗客ら数人と協力



面玄関や廊下に飾っています。いずれもかわいくてすてきな作品で、細かな部分や複雑な折り方に職員みんなが驚く出来栄え。殺風景な廊下を明るくしてくれています。折り紙は、作り手が難易度を選んで簡単に折り組むことができ、人を笑顔にしてくれるものだな——本誌に長く連載されている、いまいみさんの「だれでもかんたんてづくり

おもちゃ」を見てもそう感じます。

(静岡済生会療育センター1令和 済生記者 岩崎つかさ)

★可愛くて色鮮やかな作品がたくさん！とてもステキですね。利用者や職員の皆さんの雰囲気伝わってきます。(おりがみ作家 いまいみさ)

マイ済生会コレクション

済生会に入職し約14年、この間に集めてきた「これは！」と思う済生グッズを紹介합니다。



「済生会第二回会務報告書」には、済生会への寄付者がずらり。都道府県別や海外からの寄付金額グラフなども載っています。「十五周年記念色紙」は第二代総裁・載仁親王殿下の直筆(?)で「澤如時雨」(恩沢が深く潤い及んで天下に広く行き渡っている様子)とあります。「創立三十周年記念の済生会要覧」は済生会の歴史の重みを伝えてくれます。

それはさておき、いつも私を気にかけてくれた伊藤洋子入退院支援室長が3月で退職しました。福岡総合病院と飯塚嘉穂病院で長きにわたり済生会人として職務を全うされました。投稿に際し、日ごろの感謝の気持ちを込めて記念写真をお願いしました。これからもお元気で！ ありがとうございました！

し、迅速・的確に救命措置を実施。男性はほどなく心拍が再開し、翌日には社会復帰を果たしました。「放っておけず、助けなくちゃという一心でした。当たり前のことをしただけです」と謙遜する森さん。笑顔がとってもすてきです。

(神奈川県横浜市東部病院 済生記者 荒木愛美)

★救急現場に居合わせた人の的確な対応が大切——今号「NEWSな済生会」で語られていることを「当たり前」と実践した森さんに敬服します。(メデイカル・リーフ 原澤一也)



小腹を満たしてがんばりま〜す!

産婦人科病棟にこのたび、以前から要望のあった食品の自動販売機を導入しました。

おにぎりやサンドイッチ、菓子パン、スイーツ、お味噌汁などを24時



間365日いつでも手軽に買うことができます。妊産婦さんの分娩前の栄養補給や産後の夜食はもちろん、日々忙しい医師・助産師など職員が食事やおやつを購入するのにも便利です。

「名古屋ドーナツを買いました。でらうま！」と名古屋出身の助産師さん。一緒に買った物した職員も「私は大好きなあんぱん。小腹を満たしてがんばりま〜す！」と笑顔です。

(埼玉・川口総合病院 済生記者 原 衣里奈)

★甘いからしょっぱいのまで、バラエティー豊かな自販機で元気をチャージできますね！ (メデイカル・リーフ 平山果奈)

折り紙っていいな

当センターでは、会計窓口の委託職員が作ってくれる折り紙作品を正

広告索引

- (アクサ生命保険(株))
- 富国生命保険(相)
- 日本生命保険(相)
- 第一生命保険(株)
- 大樹生命保険(株)
- 明治安田生命保険(相)
- 裏表紙[表紙4]

次号予告

済生 No.1127 [令和5年5月号]

- 済生会の不易流行論 (176) 炭谷 茂
- NEWSな済生人
- 済生会交差点
- この人 藤田朋子
- 口福にっぽん (68) 茶っふる (静岡市)
- てづくりおもちゃ いまいみさ

(福岡・飯塚嘉穂病院 済生記者 春口勇介)

★伊藤洋子様、大変お疲れ様でした。長きにわたる勤務も記事を掲載した「済生」も済生会の歴史の一つだと思います。(本部広報室 河内淳史)

散髪ボランティアの藤原さん

ふじの里・なでしこ神戸には、長年来てくれる散髪ボランティアさんがいます。普段は理容店で働いている藤原勝さんです。

先日、いつから来所いただいたい

るのか尋ねると「20年以上になるかなあ」とのこと。仕事の合間を縫って月に数回、1回20人前後の入居者さんを整髪してくれます。

座位が取れないリクライニング車椅子の人や寝たきりの人なども、慣れた手つきで対応してくれます。伸びた髪がすっきりすると、みなさんいきいきとした笑顔に変わります。

コロナ禍は感染対策でお迎えできない時期もありましたが、散髪は入居者さんの生活に欠かせないもの。「来てほしいと言ってもらえる限り、

think!

sync!



知る・見つける・支える

ソーシャル インクルージョン

Social Inclusion **シンク!**

はじめまして、シンク!です。

済生会が推進するソーシャルインクルージョンを、
多くの人々に知ってもらうためのウェブメディアができました。

サイト名は「知る・見つける・支える ソーシャルインクルージョン」。
愛称の「シンク!」は、social inclusionから名付けました。
think (思いを巡らせる)、sync (共感する、シンクロする) という意味も込めています。

済生会内外のさまざまな活動の記事を通して、ソーシャルインクルージョンの
実現を目指す人々の思いを知り、共感し、そして仲間になってほしい。

それがシンク!の思いです。

知る・見つける・支える

ソーシャル インクルージョン

Social Inclusion **シンク!**

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>



はじめての石鍾山
西日本最高峰の石鍾山(いしねがしん)をご存じですか? 標高1982メートルの山岳信仰(修験道)の山で、日本百名山・日本百景・日本七霊山でもあり「霊峰石鍾山」とも呼ばれます。そこに昨年11月、登山経験ゼロの私が「愛媛県民なら一度は」と、散



ずっと来ます!」と藤原さん。どうぞ末永くよろしく願います。(兵庫・特養ふじの里 生活相談員 橋本佐代) ★散髪って、手の届かないところがかゆいときにかいてもらおうのに似てませんか。ちょっとしたことなのに、すごく気持ちがいい。皆さん、藤原さんに感謝しています、きつと。(本部広報室 山内 敦)

赤感覚の軽いノリで挑戦。ウインドブレーカーにスニーカーでロープウェイに乗ると、ベテラン登山者さんが「あら、スニーカーできたの?」と。その人は登山靴に登山用の杖の重装備です。不安を覚えながら登り始めると、さすがは修験道。ゴツゴツした岩や長い階段が続く険しい山道で、気持ちも装いも軽いまま来たのを後悔しました。引き返すわけにもいかずどうにか登りきって——山頂からの瀬戸内海の島々や四国山地の山々の眺めは、壮絶な3時間の道のりを一瞬で忘れるほど素晴らしいものでした。(愛媛・にぎたつ苑 訪問介護ステーション 古川美香) ★軽装備でもOKなのは天狗だけ。近畿以西で一番高い山なんですから、装備は万全をお願いしますよ。(本部広報室 山内 敦)



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財団法人済生会を創立した。以来今日まで111年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団法人済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 潮谷義子
理事長 炭谷 茂
本部 東京 支部 40都道府県
病院 81
診療所 19
介護医療院 1
介護老人保健施設 29
救護施設 1
児童福祉施設 25
老人福祉施設 122
障害者福祉施設 9
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 63
地域包括支援センター 31
地域生活定着支援センター 5
その他 10
合計 403 (数字は令和3年度)
さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の59島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万4000人。

済 生

[令和5年4月号]
THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和5年4月10日発行
通巻第1126号 (第99巻第4号)

編集兼 炭谷 茂
発行人
発行所 社会福祉法人財団法人済生会
〒108-0073
東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング21階
TEL: 03-3454-3311 (代)
FAX: 03-3454-5576
印刷所 株式会社白橋
東京都中央区八丁堀4-4-1
©社会福祉法人財団法人済生会

済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

〔災害割増特約・こども特約・
こども災害割増特約付福祉団体定期保険〕

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なうえ、
剰余金があれば
契約者配当金が戻ります。



① 終身医療保障プラン

〔手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
保持約(入院保障保険(終身型 09)用)付
入院保障保険(終身型 09)〈60日型〉〕

② 総合医療あんしんプラン

〔総合医療保険(団体型)〕

(本人・配偶者・こども対象)

2つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

〔拠出型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険〕

(本人のみ対象)



済生会グループ保険の次回一斉募集は、
令和5年7月下旬にご案内予定です。



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

[医療保険引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン)
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 (総合医療あんしんプラン)
法人サービスセンター
電話 0120-563-925
【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取り扱いしておりません)】

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン お問合せ先]

アクサ生命保険株式会社 制度推進部
【照会先】法人ビジネス業務部
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7450

[総合医療あんしんプラン担当営業部]

日本生命保険相互会社 公務第一部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5085

Form No.0D2313(10.0) AXA-A1-2202-0122/9F7 2023.02.01